

廣島市勢一班

第拾貳回



廣島市役所

10

文書館

318.10
4501-12

地面内南井心町ノ宅

凡 例

- ◎本書ハ我廣島市ニ於ケル各種ノ状態ヲ概括
的ニ紹介センガ爲メ編纂シタルモノニシテ
努メテ最新ノモノヲ輯録セルモ統計的數字
ハ大正十五年及同年度ノ事實ヲ掲載セリ
昭和元年
- ◎本書中數量ハ千位及百萬位ニ(,)ヲ單位ニ
(.)ヲ事實ナキモノハ(一)ヲ一位ニ滿タザ
ルモノハ(○)ヲ調査ニ疑義アルモノハ(?)
ヲ附ス

目次

總	說	1
沿	革	1
廣島市町名		2
氣	象	3
氣	候	3
土	地	5
位	置	5
地	勢	5
面	積	5
戸數	人口	6
戸	口	6
國勢	調査	7
職業	別	7
年齡	別	8
社寺及宗教		8
學	事	9
上	水道	12
衛	生	14
警察、裁判、警備、刑務		16
救	恤	18
商	工業	18
會	社	25
銀行及金融		27

市勢一班正誤表

頁	3	30	53	題行數	表
氣象	同業	市內主ナ	ル旅館	9	誤
降水量八千五百二十耗	三月二十七日三	半乳	眞田貞吉	18	
降水量八千五百二十耗	十二月二十五日	牛乳	直田貞吉	18	正
	(二二五)				

農	業	30
水	產	31
交	通	32
	道 路	32
	橋 梁	32
	鐵 道	32
	軌 道	32
	船 舶 (字品入港)	32
	棧 橋 (通行人員)	32
市會議員、職員、財政		34
	議 員、委 員	34
	市 吏 員	34
	財 政	35
官 公 衙		36
保 險		37
新 聞 社		38
名 所 舊 蹟		39
	廣 島 城 址	39
	大 本 營 跡	39
	舊 御 便 殿	39
	饒 津 神 社	40
	東 照 宮	40
	國 泰 寺	40
	明 星 院	40
	誓 願 寺	40
	本派本願寺廣島別院	41

國 前 寺	41
泉 邸	41
比 治 山 公 園	41
江 波 山 公 園	42
大 內 越 道	42
三 本 松	42
太宰原天滿宮	42
新 天 地	42
宇 品 山	42
廣 島 縣 廳	43
廣 島 市 役 所	43
廣島縣立商品陳列所	43
廣島商工會議所	43
廣 島 市 屠 場	43
廣島市常設家畜市場	43
上水道水源地	43
廣島高等師範學校	43
廣島高等工業學校	44
廣 島 高 等 學 校	44
宇 品 港	44
千田男爵銅像	44
廣 島 驛	44
紙屋町電車交叉點附近	44
第一軍戰死者記念碑	44
本 川 橋	44
元 安 橋	45

名物及物産.....45

牡蠣.....45

海苔.....45

柿.....45

鮎.....45

廣島菜.....45

白魚.....45

罐詰.....46

足袋.....46

染手拭.....46

晒木綿及染地類.....46

簞笥.....46

傘.....46

縫針.....47

建具.....47

紡績綿糸.....47

人造絹糸.....47

護謄製品.....47

製綿.....48

洋紙.....48

菓予.....48

燐寸.....49

清酒.....49

洋服.....50

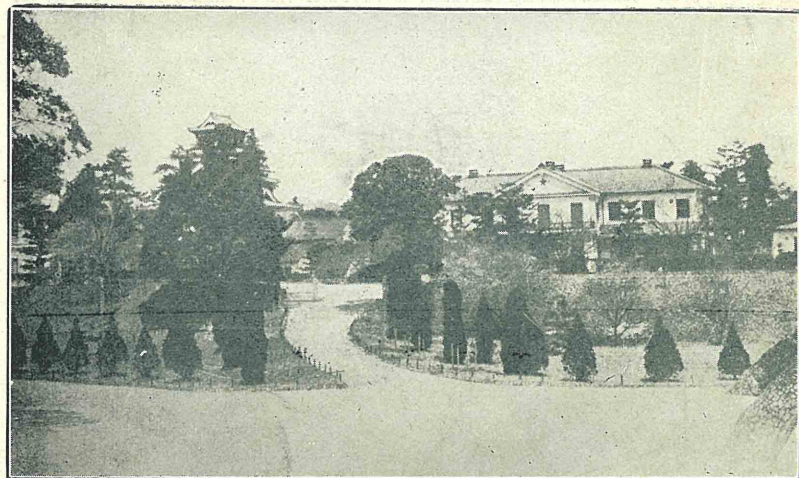
里 程 表.....52

市内主ナル旅館.....53

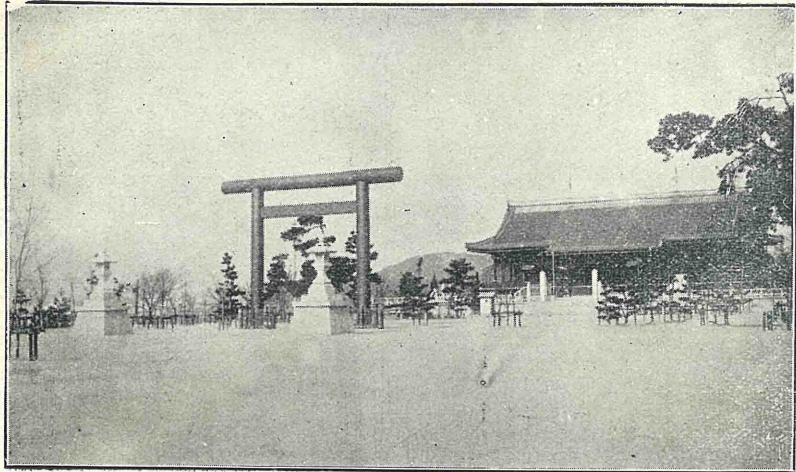
廣 島 城 趾



大 本 營 跡



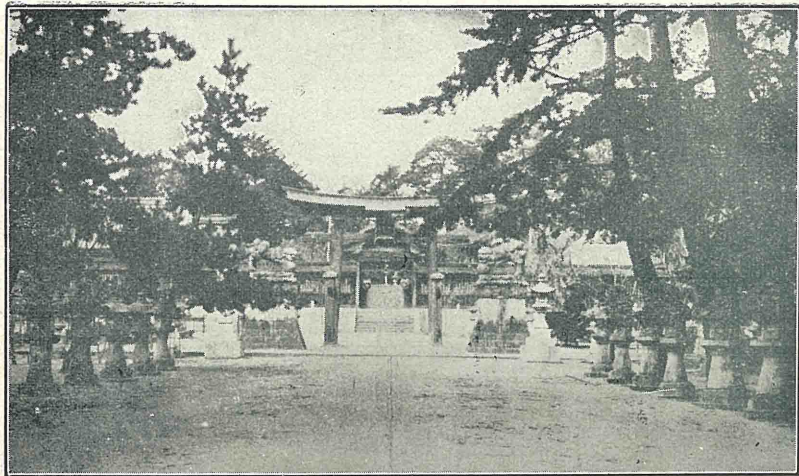
舊 御 便 殿



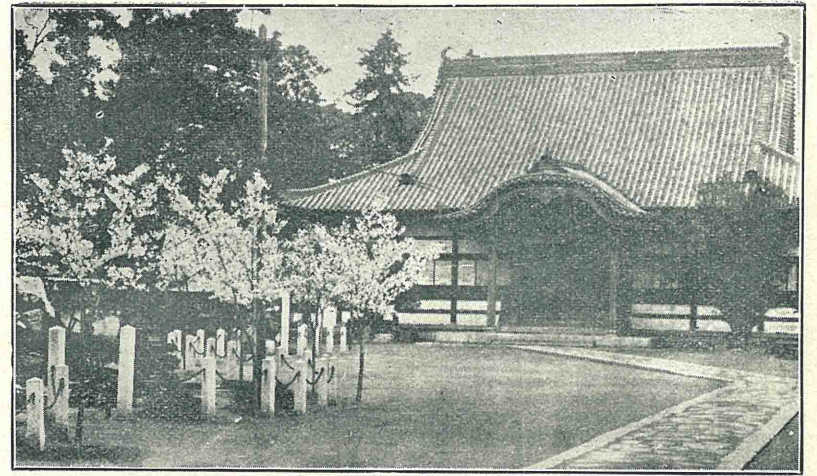
東 照 宮



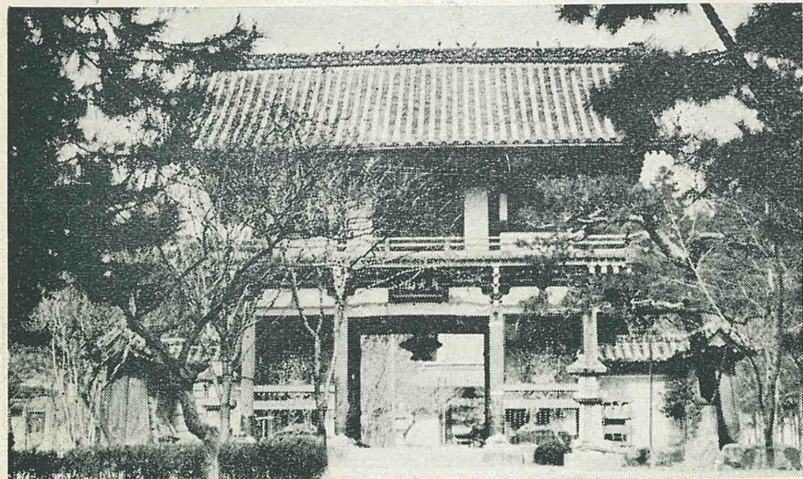
饒 津 神 社



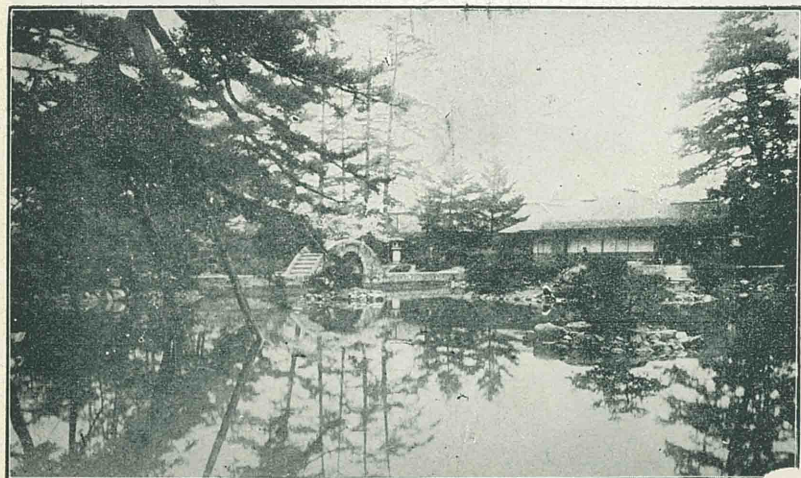
國 泰 寺 (曹洞宗)



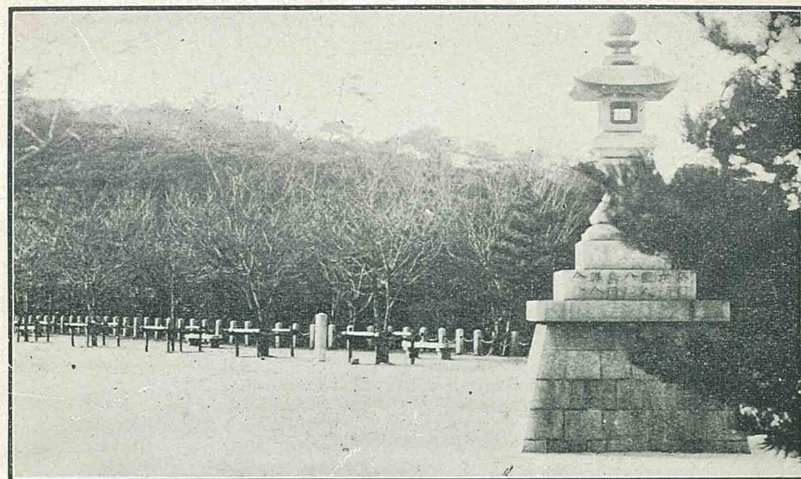
明 星 院 (眞言宗御室派)



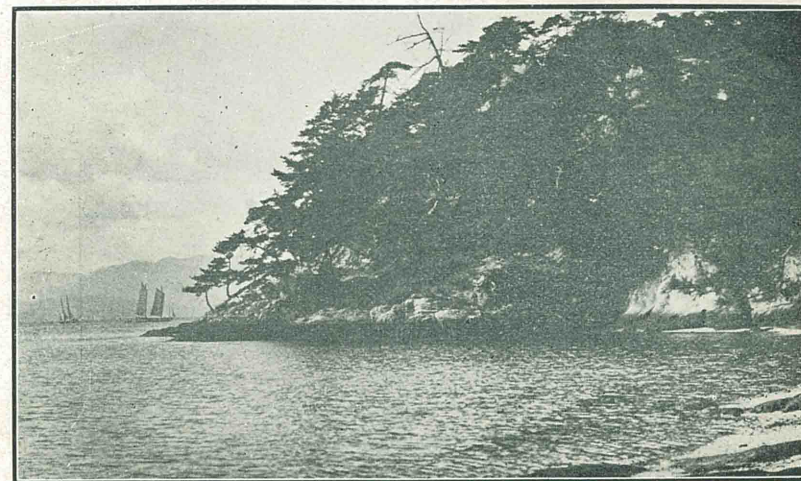
泉 邸



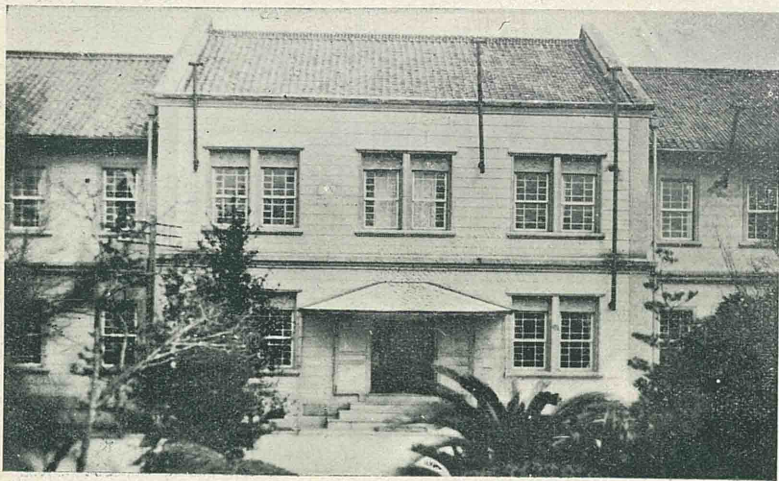
比 治 山 公 園



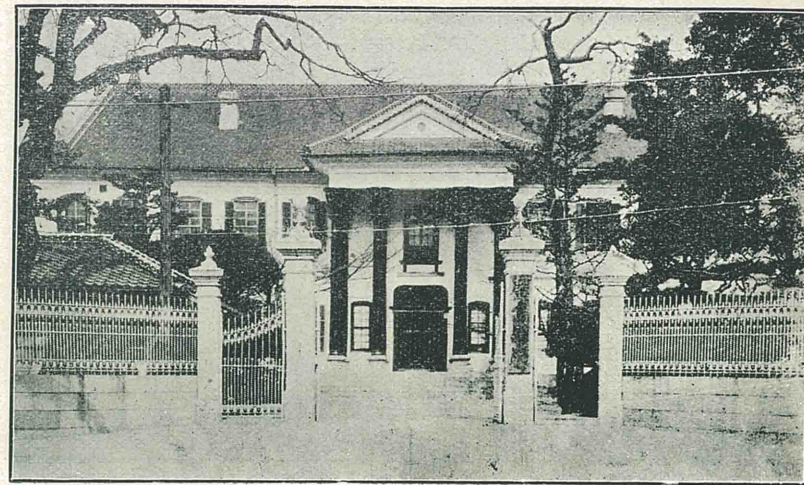
江 波 山 公 園



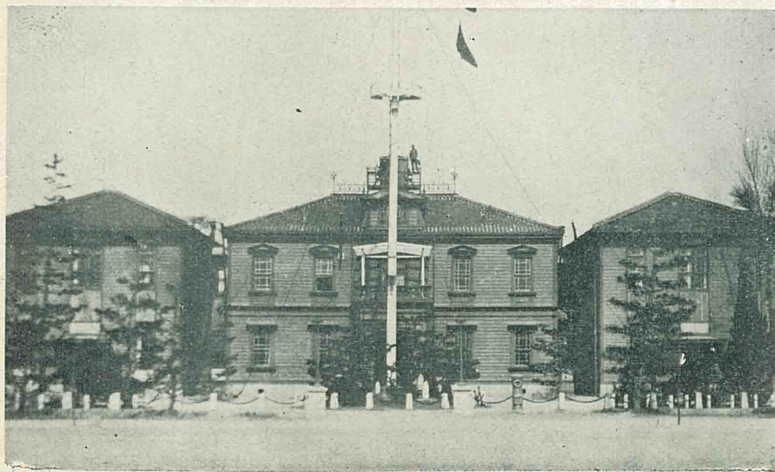
第五師團司令部



廣島縣廳



陸軍運輸部



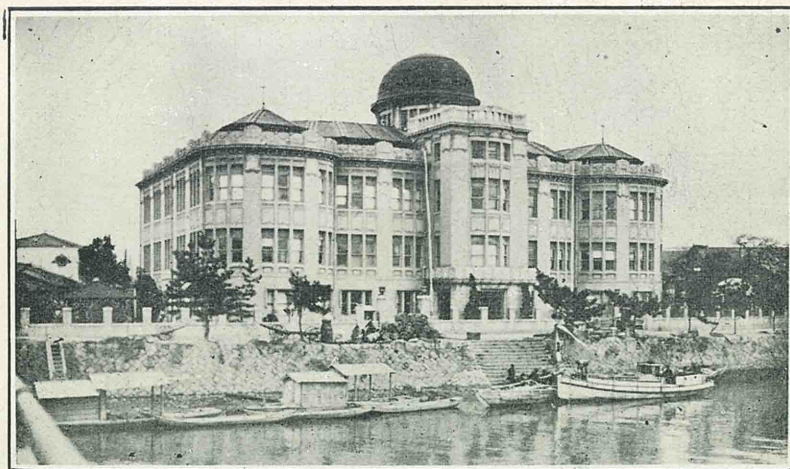
廣島市役所



廣島控訴院



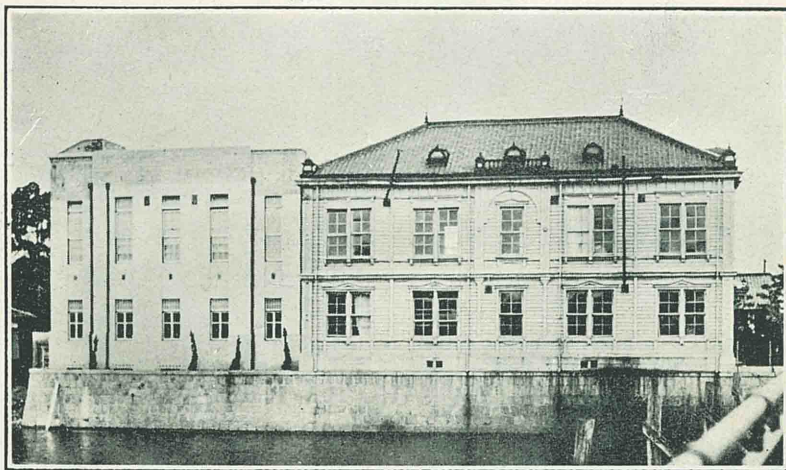
廣島縣立商品陳列所



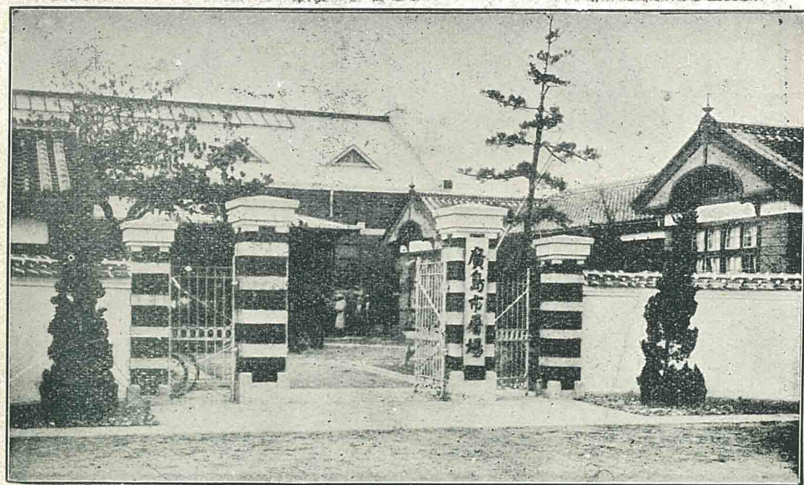
廣島地方裁判所



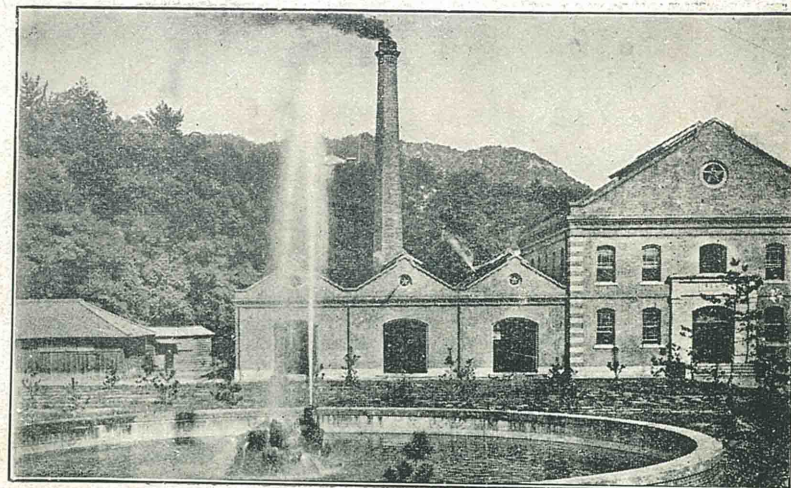
商工會議所



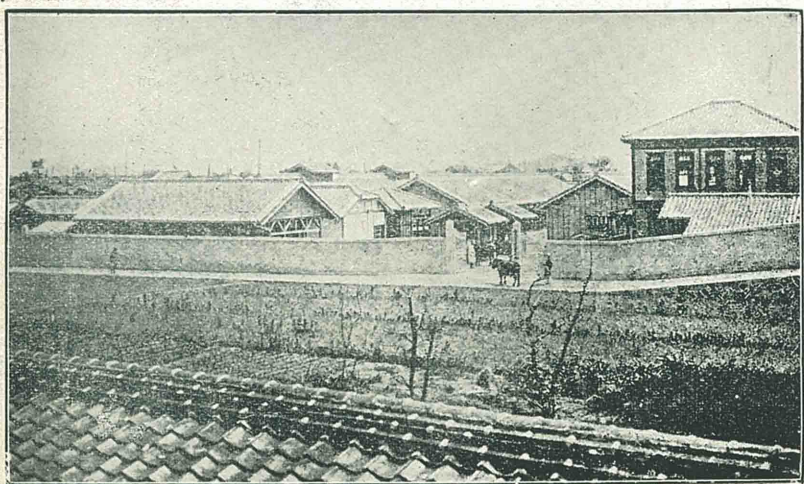
廣 島 市 屠 場



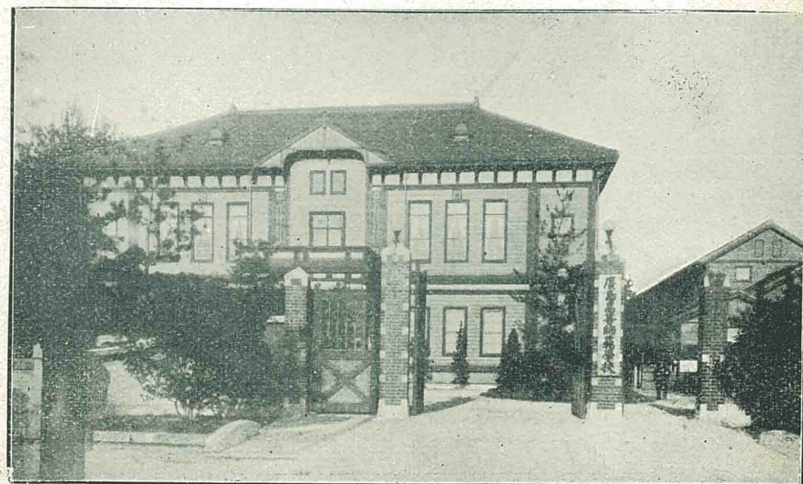
上 水 道 水 源 地



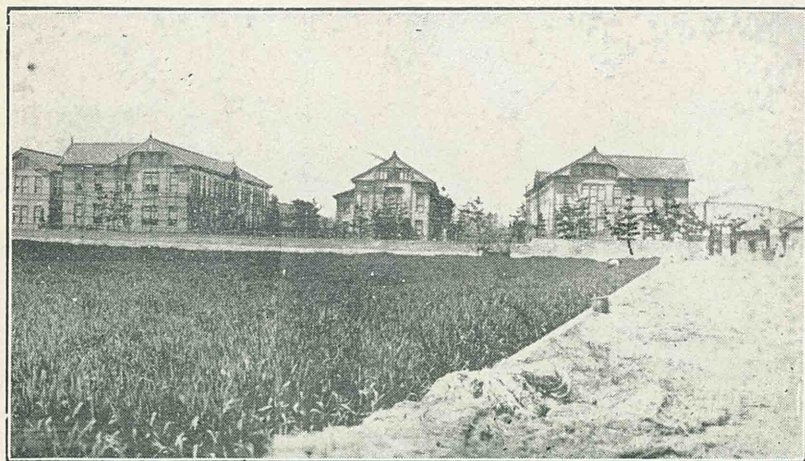
廣 島 市 常 設 家 畜 市 場



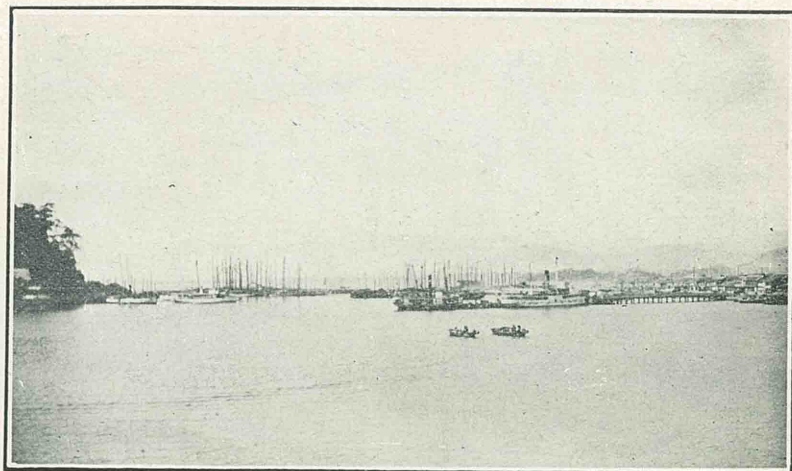
廣 島 高 等 師 範 學 校



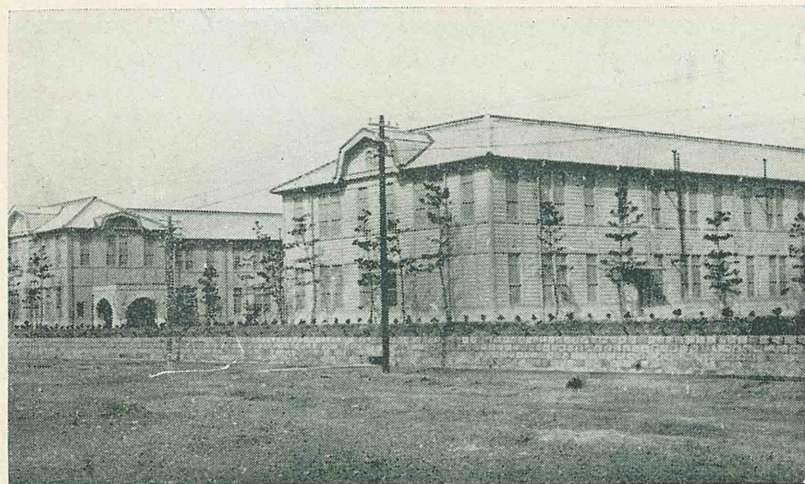
廣島高等工業學校



宇品港



廣島高等學校



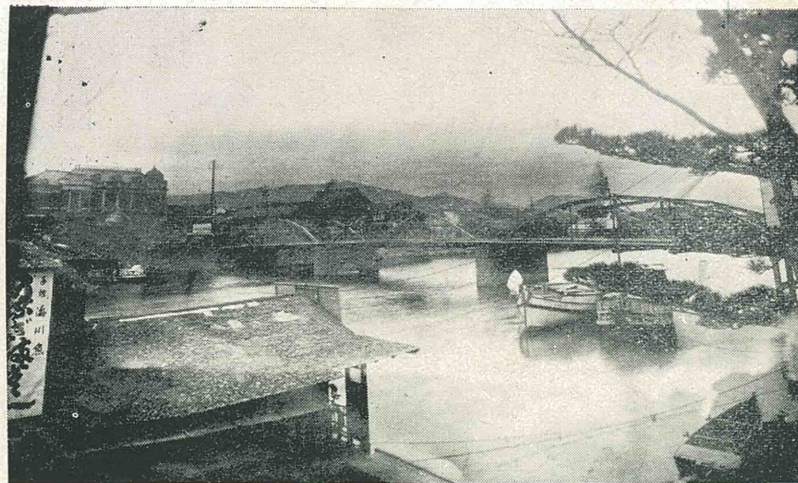
千田男爵銅像



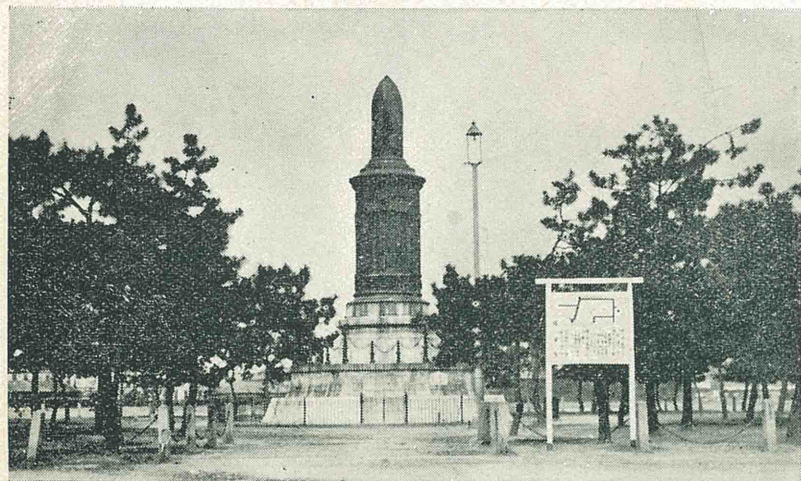
廣 島 驛



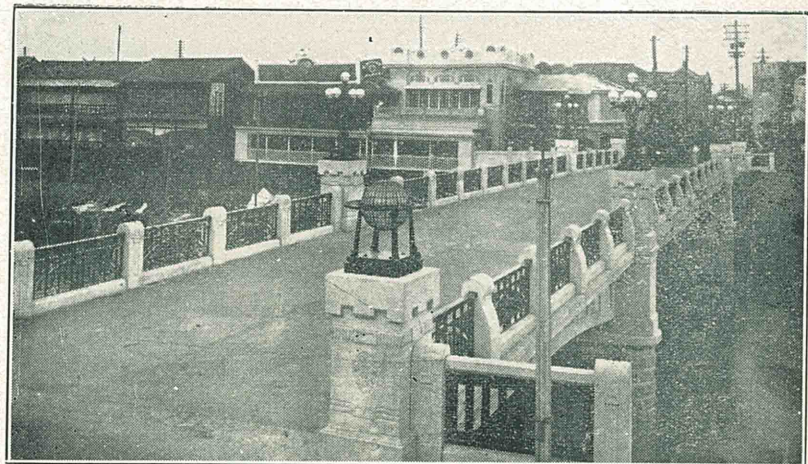
本 川 橋



第一軍戰死者記念碑



元 安 橋



總 說

沿革——本市ハ往昔五箇庄ト稱セシガ天正十七年毛利輝元此地ニ築城シテ廣島ト改稱セリト云フ而シテ毛利氏ハ當時陰陽十州ヲ領シ廣島ハ其治所ナリシカバ將士ノ邸宅及商工ノ住宅等頓ニ増加セリ毛利氏ハ百六十萬石ヲ領セシガ慶長五年削封セラレ長門周防ニ移ル福島正則其後ヲ襲ヒ尾張清洲ヨリ入城シ五十萬石ヲ領セリ二十年ノ後亦削封セラレ元和五年信濃ニ移サル同年八月淺野長晟之ニ代ル其領封四十二萬六千石ニシテ安藝一圓及備後八郡ヲ領シ紀伊ヨリ入城シ爾來淺野氏十二世ノ藩治實ニ二百五十餘年ヲ經テ明治二年六月十七日淺野氏版籍ヲ奉還ス明治四年廢藩置縣ト共ニ沼田郡江波村ヲ我管轄ニ移シテ總テヲ四區ニ分チ後又一大區トナシ之ヲ十二小區ニ分チ其間多少ノ變革アルモ區長、副區長、戶長、副戶長等ヲ置キテ本市ノ行政ヲ執レリ明治十一年十一月郡區編制ニ際シ庚午新開ヲ佐伯郡ノ管轄ニ移シテ廣島區ト爲シ區役所ヲ大手筋一丁目ニ設ケ後中島新町ニ移リ區長戶長以下吏員ヲ置キ縣廳ニ直屬シテ市政ヲ執レリ明治二十二年築港竣成ニ依リテ宇品町ヲ創設同年四月市制實施ト共ニ市役所ト改メ市會議員三十六名市長助役名譽職市參事會員六名ノ諸機關ヲ具ヘ現時ハ市會議員四十名行政區域ハ明治三十七年十月十六日安藝郡仁保島村ノ一部ヲ割キテ本市ニ編入シ元宇品町ト稱シ其他ハ淺野氏版籍奉還當時ト異ナルコトナシ而シテ明治四十年三月二十三日大須賀村ヲ大須賀町ニ川添村ヲ福島町ニ改メ大正五年七月一日國泰寺村ヲ國泰寺町及千田町ノ二ヶ町トシテ其他十二ヶ村ヲ總テ町名ニ改メタリ

明治二十七八年戰役起ルヤ大森ヲ本市ニ進メサセ給ヒ第五師團司令部内ニ大本營ヲ置キ市内ヲ臨戰地境トセラレ諸多ノ軍隊此ノ地ニ雲集セリ降テ同三十三年同三十七八年及大正三年乃至同九年戰役ニ於テモ毎ニ軍隊出入ノ要地トナレリ

廣島市町名

尾長町	愛宕町	大須賀町	猿猴橋町
荒神町	蟹屋町	大須町	東新開町
段原町	皆實町	宇品町	元宇品町
的場町	金屋町	比治山町	土手町
松川町	稻荷町	京橋町	臺屋町
白島中町	白島西中町	白島東中町	白島北町
白島九軒町	東白島町	西白島町	基町
橋本町	石見屋町	上柳町	山口町
銀山町	東引御堂町	斜屋町	幟町
上流川町	鐵砲町	八丁堀	胡町
堀川町	三川町	下流川町	藥研堀
下柳町	平塚町	田中町	竹屋町
南竹屋町	立町	東魚屋町	研屋町
平田屋町	播磨屋町	革屋町	鐵砲屋町
新川場町	中町	下中町	西魚屋町
袋町	小町	尾道町	鹽屋町
紙屋町	猿樂町	大手町一丁目	同二丁目
同三丁目	同四丁目	同五丁目	同六丁目
同七丁目	同八丁目	同九丁目	國泰寺町
千田町	細工町	横町	烏屋町
中島本町	天神町	材木町	元柳町
木挽町	中島新町	水主町	吉島町
寺町	西引御堂町	空鞘町	鷹匠町
十日市町	西九軒町	左官町	鍛冶屋町
油屋町	塚本町	猫屋町	西大工町
榎町	堺町一丁目	同二丁目	同三丁目

同四丁目	西地方町	西新町	小網町
河原町	船入町	江波町	廣瀬町
觀音町	天満町	福島町	
(計百十五箇町)			

氣象

氣候——本市ノ氣溫ハ概シテ中和風弱キ土地ニシテ一年ノ平均溫度ハ十四度七分(華氏五十八度五分)ニシテ既往ニ於ケル最高溫度ノ極ハ大正十三年八月五日ノ三十八度一分(華氏ノ百度六分)最低溫度ノ極ハ大正六年十二月二十八日ノ零下八度六分(華氏ノ十六度五分)ナリ今大正十五年ノ氣溫ヲ見ルニ昨年ハ平年ニ比シ低溫ニシテ平均ハ十四度四分(華氏五十七度九分)ニテ昨年及ビ平年ヨリモ〇度三分低ク最高溫度ハ八月六日ノ三十五度(華氏九十五度)ニシテ昨年ヨリ一度一分低ク最低溫度ハ十二月二十六日ノ零下五度六分(華氏二十一度九分)ニシテ昨年ヨリ一度三分低シ本市ノ降雨ハ概シテ初夏ヨリ初秋ノ候ニ多ク平年ノ降水量八千五百二十耗ニシテ降水日數ハ百三十五日ナルガ大正十五年ニ於ケル降水量ハ千七百九十三耗ニシテ昨年ヨリハ二百九十九耗ニ平年ヨリハ二百七十三耗ノ多量ヲ示セリ

(コレハ九月十一日ニ於テ三百三十九耗六ノ多量ヲ測リ一時間ノ最大量七十九耗ニノ記録ヲ得タルガ爲ナリ) 降水日數ハ百三十三日ニシテ前年ノ百十九日ニ比シ十四日多ク平年ニ於ケル降水日數百三十五日ニ比スレバ二日少シ而シテ大正十五年ニ於ケル降水量降水日數ノ多キハ九月ニシテ降水量ハ五百八耗九降水日數ハ二十日ニシテ最少キ降水量ハ二月ノ四耗ニ降水日數ハ八月中五日ナリ雪降日數ハ大正十五年中三十二日(前年ニ比シ六日平年ニ比シ八日多シ)ニシテ積雪ノ最深ハ三月二十七日ノ三糎五(一寸二分)ニシテ大正十五年ニ初メテ霜ヲ見タルハ十一月二十一日(昨年ヨリ九日早く平年ヨリ五日遅シ)ニシテ又初雪ハ十二月八日(昨年ヨリ九日平年

ヨリ一日早シ)ナリ終雪ハ三月二十七日(昨年及ビ平年ヨリ孰レモ十日遅シ)
ニテ終霜ハ四月十一日ニシテ昨年ヨリ四日遅シ又大正十五年ノ濕度ハ平均
七十三%七(昨年ヨリ-%三多ク平年ヨリ〇%六少ク)最モ乾燥シタルハ四
月ノ六十六%-ニシテ最モ濕氣多キハ七月ノ七十八%四ナリ風向ハ夏季ニ
南西多ク其他ハ殆ンド北々東風一年中夜間ハ北又ハ北々東ノ風吹キ冬期ニ
テモ日中平穩ナルトキハ南西ノ風多ク吹クコトアリ大正十五年中最モ強カ
リシ風ハ六米九ニシテ既往ニ於ケル最モ強カリシ風ハ明治三十三年八月十
九日ノ三十二米三ナリ大正十五年中暴風日數ハ一日モナク昨年ハ一日アリ
平年ハ四日ナリ大正十五年中ニ於ケル快晴(滿天ヲ十分シ全ク雲ナキカ若
シクハ平均雲量十分ノ二ニ充タザル日)日數四十三日ニシテ前年ニ比シ十
四日平年ニ比シ五日多ク地震ハ大正十五年中七回ニシテ昨年ニ比スレバ四
回平年ニ比スレバ三回ノ減少ヲ示シ概ネ微震ニシテ弱震以上ノ地震ヲ見ズ

目次	氣 溫			濕 度	風 速	地 震	天 氣 日 數			降水量
	平均	最高	最低				快晴	曇天	降水	
一 月	3.8	14.1	-5.1	71.9	1.5	2	1	13	13	25.4
二 月	4.8	14.1	-3.4	71.8	1.4	1	2	13	8	56.4
三 月	6.8	19.5	-2.4	68.7	1.7	—	5	6	15	86.4
四 月	11.5	22.6	0.5	66.1	1.7	—	6	9	8	73.9
五 月	17.4	25.8	5.5	76.8	1.4	—	3	15	13	251.8
六 月	20.6	30.9	9.0	71.0	1.6	1	4	9	6	96.1
七 月	25.4	33.8	15.7	78.4	1.5	1	1	12	14	406.5
八 月	28.0	35.0	20.8	76.3	1.6	1	5	9	5	64.7
九 月	24.1	34.0	15.7	77.7	1.4	1	1	14	20	508.9
十 月	15.3	27.5	3.2	74.1	1.7	—	5	7	9	91.7
十 一 月	10.3	22.9	1.2	75.4	1.5	—	8	6	7	47.5
十 二 月	4.6	17.5	-5.6	75.8	1.6	—	2	8	15	83.7
計及平均	14.4	35.0	-5.6	73.7	1.5	7	43	121	133	793.0
大正十四年	14.7	36.1	-4.3	72.4	1.4	11	29	132	119	1494.8
大正十三年	14.6	38.1	-4.2	73.8	1.6	6	30	136	123	1075.4

土 地

位 置——廣島市ハ東經三十二度二十五分十六秒乃至二十九分五十六秒北
緯三十四度二十分乃至二十四分二十七秒ノ間ニアリテ安藝國西南ニ位シ東
及北半面安藝郡ニ西ハ佐伯郡ニ北半面ハ安佐郡ニ接シ南一帯ハ廣島灣ニ瀕
ス

地 勢——東西北ノ三方ハ山脈ニ圍繞セラレ南一面ハ海ニ瀕ス市内ハ北ヨ
リ南ニ向テ僅ニ傾斜シ河川亦南流ス而シテ太田川ハ市ノ北端白島北町一本
木鼻ニ來リ兩分シ神田川ト共ニ市北方ノ境界ヲ劃ス一ハ臺屋町ノ北角ニ到
リテ更ニ二分セラレ其ノ一派ハ中島本町ノ北角ニテ元安、本川ノ二川トナ
リ他ノ一派ハ西南ニ流レテ天滿、福島山手ノ三川トナリ諸川皆廣島灣ニ注
グ

街衢ハ概ネ平坦ナルモ東方ニ比治山ノ弧丘アリ西南ニ江波山、丸子山、皿
山ノ小陵アリ海上宇品灣頭ニ宇品島アリ其平地ハ太田川ニ依テ數多ノ三角
洲ヲ成シ地質ハ一般ニ花崗石ニ屬ス

面 積

面 積	廣 島 市		延 長	河 川	橋 梁 數
	極東 大須町 榎川	極西 福島町 附寄洲			
周 圍	27,299.667 (8,258.112)	26,909 (6,304.40)	8,000 (2,012.20)		
道 路	面 積		延 長	河 川	橋 梁 數
	區 別	面 積			
國 道	國 道	(12,284)	40,608 (1,19.18)	6,032	
	縣 道	(35,785)	118,298 (3,21.34)	14,134	
	市 道	(267,914)	885,670 (85.04.18)	334,287	
					32,387 (7,28.13)
					23

有	區	別	段	別	地	價
租	市街宅地	(578.1)	5,733.226			5,414.791
	田畑池	(253.7)	2,516.031			113.887
		(459.1)	4,553.070			182.639
		(0.4)	3.967			5
地	山原	(24.9)	246.942			1.005
	林野	(0.9)	8.925			10
	雑種地	(2.2)	21.818			87
免	區	別	反	別	區	別
租及無租地	學校敷地	(63.0.4.00)	625.191	警察署敷地	(6.3.0.00)	6.248
	鄉村社地	(1.0.0.00)	992	縣會議事堂敷地	(6.9.0.00)	6.843
	墳墓敷地	(11.0.6.00)	110.686	病院敷地	(2.8.8.00)	28.562
	用惡水路	(1.9.9.00)	19.735	測候所敷地	(1.3.3.00)	13.189
	溜池	(1.5.0.00)	1.488	新開地	(174.9.8.00)	1,734.739
	井溝	(2.6.0.00)	2.578	荒地	(9.8.4.00)	97.587
	道路	(4.2.9.00)	42.545	工業試驗場敷地	(2.5.0.00)	2.479
	鐵道敷地	(3.7.8.00)	37.493	下水道敷地	(5.6.4.13)	55.977
	縣廳敷地	(1.3.4.00)	13.289	軌道用地	(3.9.3.00)	38.975
	保安林	(1.5.0.00)	1.487	其他	(11.4.2.07)	113.279
官有地	市役所敷地	(3.2.0.00)	3.173			
	國道	(4.0.9.14)	48.640	溝渠	(32.3.0.13)	320.363
	縣道	(14.4.0.02)	142.817	社寺地	(14.3.0.12)	141.386
	市道	(88.1.7.05)	874.416	官用地	(30.5.4.25)	302.959
	河川	(248.5.6.19)	2,465.120	其他	(119.6.2.19)	1,186.378
	堤防	(23.8.8.23)	236.902			

戸数人口

戸数人口——本市ニ於ケル昭和元年十二月三十一日現在戸数五一、六二七

ニシテ人口ハ男一〇三、八九四女一〇一、八九一計二〇五、七八五人ナリ
之ヲ前年ニ比スレバ戸数六、〇二六戸人口一八、八五七人増加セリ其ノ増
加率ハ戸数一三、二一%人口一〇、〇八%ヲ示セリ

本籍者ノ結婚數ハ最近十ヶ年平均一、四三%離婚數ハ〇、二一%ヲ示シ出
産ハ二、八五%死亡數二、五八%ヲ示セリ

年次	現住戸數	男	女	計	一戸ニ付 平均人口
大正十二年	44,399	87,274	84,524	171,798	3.9
大正十三年	45,394	89,332	87,887	177,219	3.9
大正十四年	45,601	93,829	93,099	186,928	4.0
昭和元年	51,627	103,894	101,891	205,785	4.0
昭和元年	本籍者 出寄留者 入寄留者 出生 死亡 婚姻 離婚	男		女	
		計		計	
		78,406	77,231	155,637	
		20,118	16,029	36,147	
		45,606	40,689	86,395	
		3,181	2,992	6,173	
		2,260	2,081	4,341	
		—	—	1,993	
		—	—	323	

國勢調査 戸口表

調査ノ年	世帯數	人		
		男	女	計
大正九年	34,522	75,522	77,123	152,645
大正十四年	42,802	95,811	93,734	189,545
差引増減	増 8,280	増 20,289	増 16,611	増 36,900

備考 本表ハ軍隊、刑務所ヲ除キタルモノトス

本表ニ依レバ平均一ヶ年ノ増加率ハ世帯數一千六百五十六人口七千三百八十ノ
増加ヲ示セリ

職業別表 (大正九年調査)

職業別	男	女	計	百分比
農業	2,847	1,821	4,668	2.9
水産	469	384	853	0.5
鑛業	32	—	32	0.0
工業	16,007	6,227	22,234	14.1
商業	12,596	4,086	16,682	10.6
交通	5,149	416	5,565	3.5
公務及自由業	7,615	1,970	9,585	6.1
其ノ他ノ有業者	1,440	2,301	3,741	2.3
家事使用人	97	2,064	2,161	1.3
無職者	32,080	59,941	92,021	58.7
計	77,543	79,210	156,753	100.0

備考 本表ハ一人ニテ本業ト副業トヲ併有スルモノアルガ故ニ人口總數ト符合セズ

年 齡 別 表

(大正十四年調査)

年 齡 別	十 歳 マ デ	二十歳マデ	三十歳マデ	四十歳マデ	五十歳マデ	六十歳マデ
男	22.121	24.757	16.837	11.713	9.674	6.521
女	21.497	22.877	16.204	10.950	9.688	6.536
計	43.618	47.634	33.041	22.663	19.262	13.057

年 齡 別	七十歳マデ	八十歳マデ	九十歳マデ	百 歳 マ デ	百 歳 以 上	計
男	3.093	1.071	117	6	—	95.810
女	3.721	1.888	341	30	1	93.732
計	6.814	2.959	458	36	1	189.542

備考 本表中最年長者女一ハ百三歳ナリ

社 寺 及 宗 教

社寺及宗教——本市ニ於ケル神社ハ四十一社ニシテ寺院百三十二個寺、神道教會所四十一ヶ所、基督教會十一個アリ

區 別	縣 社	郷 社	村 社	招 魂 社	無 格 社	計
神 社	1	1	9	1	29	41
神 職	2 × 1	2	9 × 1	1 × 1	2	15 × 3

區 別	眞 言	淨 土	臨 濟	曹 洞	眞 宗	日 蓮	計
寺 院	15	19	6	13	68	11	132
住 職	13 × 2	19	5 × 1	13	64 × 4	10	124 × 7
説 教 所	4	1	—	—	11	—	16

神道教會所	金光	黒住	神理	天理	大元	扶桑	神習	御嶽	其他神道	計
	7	2	4	20	1	2	2	1	2	41

基督教會	會 堂	講 義 所	布 教 者	信 者 數
	10	2	21	1,495

佛教濟世軍	所 在 地	眞 宗	布 教 者
	研 屋 町	1	4

學 事

教 育——昭和元年度末ニ於ケル學齡兒童二五、六一五名ノ内就學ノ始期ニ達シタルモノ二一、四一四名就學ノ始期ニ達セザルモノ四、二〇一名之ヲ前年ニ比スレバ就學ノ始期ニ達シタルモノ二、八二五名就學ノ始期ニ達セザルモノ六六名ノ減少ヲ見ル而シテ最近十ヶ年平均就學ノ始期ニ達シタル兒童中不就學者〇、四二%ヲ示セリ

昭和元年末ニ於ケル小學校ハ官公立二校私立三校計二四校ニシテ其ノ教員數五四六名兒童數二四、五二四名ナリ之ヲ前年ニ比スルニ教員一六名増加シ兒童二、九二五名ノ減少ヲ來セリ卒業者ハ昭和元年四、八八〇名ニシテ前年ニ比シ一三八名ノ増加ヲ示セリ

高等師範學校ハ一校ニシテ昭和元年度末現在ノ教授六五名生徒七四一名ニシテ本年入學志願者一、〇〇七名中入學者一八九名ナリ卒業者一九一名ニシテ之ヲ前年ニ比スレバ一八名ノ増加ヲ見ル

高等工業學校ハ一校ニシテ昭和元年度末現在教授三八名生徒二二七名ニシテ入學志願者七四一名中入學者一一六名卒業者九五名ニシテ之ヲ前年ニ比スルニ卒業者三名増加セリ

高等學校ハ一校ニシテ大正十三年十二月十日ノ創立ニ係リ現在教員數四〇名生徒五五二名ニシテ入學志願者一、六八一名中入學者一七八名ナリ

陸軍幼年學校ハ一校ニシテ昭和元年度末現在ノ教官一〇名生徒數一〇〇名本年度卒業者五〇名ナリ

縣立師範學校ハ一校ニシテ教員二九名生徒五三三名ニシテ卒業者ハ本年二〇六名ナリ之ヲ前年ニ比スレバ三五名ノ増加ヲ來セリ

中學校ハ官立一縣立二私立四計七校ニシテ教員二三〇名生徒五、一五三名卒業者ハ本年八四一名ニシテ前年ニ比スレバ九九名ノ増加ヲ示セリ而シテ本年入學志願者三、五六一名中入學者一、六〇一名ナリ

縣立工業學校ハ一校ニシテ入學志願者六〇九名中入學者一八五名現在生徒

七六六名教員五〇名ナリ卒業生一六一名ニシテ前年ニ比スレバ三八名ノ増加ヲ示セリ

商業學校ハ縣立一市立一私立一計三校ニシテ入學志願者一、一一五名中入學者五一〇名現在生徒一、七六七名教員七四名ナリ卒業生二一〇名ニシテ前年ニ比スレバ七名ノ減少ヲ示セリ

高等女學校ハ縣立一市立一私立五計七校ニシテ入學志願者二、五九八名中入學者一、二七五名卒業生一、二四八名ナリ

商業專修學校ハ市立一校ニシテ入學志願者一六九名中入學者一六九名現在生徒一九三名教員二二名ニシテ卒業生ハ四三名ナリ

工業專修學校ハ市立一校ニシテ入學志願者一七九名中入學者一七九名現在生徒二四七名教員五一名ニシテ卒業生四七名ナリ

盲啞學校ハ縣立一校ニシテ教員一四名生徒二〇八名ニシテ本年入學者二七名卒業生二三名ナリ

青年訓練所ハ大正十五年七月ノ創立ニシテ其數二一箇所其ノ指導員一〇五名生徒一、五〇一名ナリ

圖書館ハ高等師範學校所屬ノモノハ圖書數九六、〇七六冊一ケ年ノ閱覽人員一二、六二二人ニシテ平均一日三五人ナリ南隣ニ高等師範學校附屬教育博物館一アリ

淺野圖書館ハ國泰寺町ニ在リ大正十五年十二月五日開館シ圖書數四二、六七五冊閱覽人員一、三四一人ナリ

學 齡	種 別		男	女	計
	就學ノ始期ニ達シタルモノ	就學	10.927	10.380	21.307
		不就學	56	51	107
		計	10.983	10.431	21.414

兒 童	就學ノ始期ニ達セザルモノ	2,066	2,135	4,201
	計	13,049	12,566	25,615
就學ノ始期ニ達シタル者百人中就學歩合		95.46	99.51	99.50

校 別	數	教職員保母	學生生徒及兒童	入 學 者	卒 業 者
高等師範學校	1	65	741	189	196
高等工業學校	1	38	248	116	95
高等學校	1	40	552	178	—
師範學校	1	29	533	262	196
幼年學校	1	10	100	—	50
中 學 校	7	230	5,153	1,601	841
商業學校	3	74	1,767	510	210
工業學校	1	50	766	185	162
高等女學校	7	215	5,183	1,275	1,248
小 學 校	24	546	24,524	5,480	4,680
盲啞學校	1	14	208	27	23
幼稚園	10	26	667	666	408
其他各種學校	15	157	1,190	1,099	450
計	78	1,494	41,632	11,528	8,759

學 校	廣島高等師範學校	千田町	廣島縣立工業學校	千田町
	廣島高等學校	皆實町	市立廣島工業專修學校	大手町八丁目
	廣島高等工業學校	千田町	廣島陸軍幼年學校	基町
	廣島高等師範臨時教員養成所	千田町	私立修道中學校	千田町
	廣島第一中學校	國泰寺町	私立山陽中學校	南竹屋町
	廣島第二中學校	觀音町	私立松本中學校	尾長町
	廣島高等師範學校附屬中學校	千田町	私立廣陵中學校	宇品町
	廣島縣師範學校	皆實町	私立廣友中學校	大手町八丁目
	廣島縣立廣島商業學校	南竹屋町	私立修道學校(修道中學校内)	千田町
	市立廣島市商業學校	觀音町	私立廣島中學(山陽中學校内)	南竹屋町
校	市立廣島商業專習學校	袋町	私立鯉城中學(廣陵中學校内)	宇品町
	私立松本商業學校	尾長町	私立眞愛中學	觀音町

學 校	縣立廣島高等女學校	下中町	私立廣島女子齒科醫學校	上流川町
	市立廣島高等女學校	船入町	私立廣島鍼灸學校	廣瀬町
	私立山中高等女學校	千田町	私立清輝舍	小町
	私立進徳高等女學校	千田町	私立廣島鍼灸學院	愛宕町
	私立廣島女學校	上流川町	私立フレーザ-英語學校	三川町
	私立安田高等女學校	西白島町	私立廣島育英學校	八丁堀
	縣立廣島盲啞學校	小町	私立廣島高等美髮女學校	材木町
	私立廣島法律專修學校	大手町八丁目	私立廣島產婆看護婦學校	三川町
	私立廣島教員講習所	國泰寺町	私立廣島看護助產學校	猫屋町
校	私立廣島勞働講習所	袋町	私立廣島女子商業學校	段原町
	私立廣島高等簿記學校	白島中町	私立常盤女學校	觀音町

圖書館(高師內)	館	數	圖	書	數	閱	覽	人	員
		1		96.076		12.622			
淺野圖書館		1		42.675		1.341			

上 水 道

上水道——上水道ハ明治二十九年軍用水道ト相俟チテ起工シ同三十一年竣工セリ、其ノ工費ハ軍用六三九、八四五圓ニシテ市有二九四、〇六五圓ヲ要セリ、而シテ軍用水道ハ同三十一年九月一日ヨリ向フ三十ケ年間本市使用ノ許可ヲ得タルモノニシテ同三十二年一月ヨリ陸軍諸官衛及市内一般ニ給水ヲ開始セリ當時ノ施設ハ人口一〇〇、〇〇〇ニ對スルモノニシテ一日ノ最大給水量ハ四五〇、〇〇〇立方呎（七〇、二〇〇石）一人一日最大給水量三立方呎七五）ナリシガ戸口逐年増加シ僅々十ケ年ニシテ給水限度ノ人口ヲ超ユルニ至リシカバ同四十年三月第一期擴張工事ヲ起シ同四十一年三月竣工セリ、此ノ工費一四五、五九四圓ヲ要シ人口一六〇、〇〇〇ニ對スル最大給水量六〇〇、〇〇〇立方呎（九三、六〇〇石）ヲ供給シ、尙豫備機械ヲ擧ゲテ使用スルニ於テハ優ニ給水量七五〇、〇〇〇立方呎（一一七、〇〇〇石）ノ需要ヲ充タスコトヲ得ルニ至レリ、然ルニ本市ノ發展著シク

人口益々増加シ既設ノ設備ニテハ或ハ給水ノ不足アルヲ慮リ大正十年五月第二期擴張工事ヲ起シ同十三年六月竣工セリ此ノ工費ハ實ニ二一三〇、〇一七圓ニシテ人口二五〇、〇〇〇ニ對スル最大給水量（從來ハ一人一日最大給水量三立方呎七五ヲ五立方呎二五トス）一三一〇、〇〇〇立方呎（二〇二、〇〇〇石）ヲ供給尙豫備機械ヲ擧ゲテ使用スルトキハ優ニ二、〇〇〇、〇〇〇立方呎（三〇八、〇〇〇石）ノ需要ヲ充シ得ルニ至レリ、水源地ハ面積二九、六九〇坪沈澱池三個此ノ容積四八〇、〇〇〇立方呎（七四、〇〇〇石）濾過池七個此ノ濾過面積一三三、〇〇〇平方呎、砂溜池、一個量水池一個、機關室一棟、取水唧筒室一棟、送水唧筒室一棟、量水室二棟アリ、山上ニ配水池五個ヲ設置シ此ノ容積三二五、〇〇〇立方呎（五〇、〇〇〇石）ナリ、又太田川沿岸（安藝郡牛田村）ニ取次場一ヶ所取水塔一基ヲ設ケ之レヨリ取水唧筒井迄自然流入シ唧筒ヲ以テ各池ニ引キ附近海拔一七〇呎ノ山上ニアル配水池ニ壓送シ所謂唧筒配水法ニ依リテ市内ニ配水セリ、其ノ本管ハ二四吋、二〇吋、八吋ノ三條ニシテ陸軍各兵營並ニ市内各町ニ及ブ各町道路面上約五十間毎ニ一個ノ割合ヲ以テ公設防火栓ヲ設置セリ

上 水 道	區	別	給	水	戸	數	給	水	量	給	水	料
放給 任水	{	專 用 栓	}	34.575.675	}	26.250	}	187.734.230	}	}	}	}
		共 用 栓										
計	{	家 事 用	}	18.024.371	}	7.204	}	205.053.200	}	}	}	}
		營 業 用										
量	{	官衙學校會社用	}	3.684.609	}	95	}	29.515.360	}	}	}	}
		噴水庭園用										
給	{	湯 屋 用	}	1.827.125	}	28	}	5.471.930	}	}	}	}
		陸 軍 用										
水	{	船 舶 用	}	145.211	}	12	}	3.189.630	}	}	}	}
		合 計										
道				58.256.989		49.560		520.667.470				

上

水

道

給水戸口	全戸口		給水戸口		水道外ノ水ヲ使用スル戸口		現住戸口百ニ對スル給水戸口		
	戸數	人口	戸數	人口	戸數	人口	戸數	人口	
	51.627	205.785	49.560	197.744	2.067	8.041	96	96	
配水管及栓	配水管				防火栓				
	軍用線延	市有線長	計		公設數	私設數	軍用數	計	
	30.067 7里23町37間	174.400 44里14町46間	204.478 52里02町23間		1.066	822	306	2.194	
水栓數	放任給水栓				計量給水栓				合計
	専用	公設共用	私設共用	計	専用	湯屋用	船舶用	陸軍用	
	22.826	352	2.215	25.393	9.429	640	12	1.919	12.000
累給年水比較量	年	度	給水量		一日平均給水量	給水人口		一日一人平均給水量	
	大正十二年度		41.896.700		114.785	165.441		694	
	大正十三年度		46.048.490		125.816	169.954		740	
	大正十四年度		52.211.120		143.044	179.451		797	
	昭和元年度		58.253.989		159.608	197.744		807	

衛生

大正十五年

衛生——塵芥搬出量ハ昭和元年中五、六五六、一三〇貫ニシテ之ニ要スル掃除人夫延四〇、二三二人ヲ要セリ之ヲ前年ニ比スレバ塵芥搬出量二一九、八七〇貫ノ増加ヲ見掃除人夫延八二人ノ増加(戸口自然増加ニ依ル)ヲ示セリ

公設便所ハ昭和元年末五四個所ニシテ平均二個町ニ一個所強ノ割合トナル醫師ハ昭和元年末ニ於ケル現在數三七〇名ニシテ昨年ニ比シ一四名ノ増加ヲ見ル而シテ醫師一人ニ對スル現在人口ハ五〇五人ナリ齒科醫師ハ一一九名ニシテ昨年ニ比シ二名ノ増加ヲ見ル

産婆ハ昭和元年末二五一名之ヲ昨年ニ比スレバ八三名減少セリ

傳染病患者ハ昭和元年中三八二人ニシテ其ノ最モ多キハ八月五〇人一月四八人五月四六人ナリ之ヲ前年ニ比スレバ總計ニ於テ一三九人ノ減少ヲ示セリ而シテ傳染病死亡者ハ一五六人ニシテ其ノ死亡者ノ最モ多キハ腸チブス七五人疫痢四五人赤痢一四人等トス又其ノ死亡者ノ年齢ヲ見ルニ三十歳乃至四十歳ノモノ最モ多シ

醫師 其 ノ 他	醫 師	藥 劑 師	產 婆	看 護 婦	鍼 灸	按摩其他					
	370 齒科 119	153	251	797	161	281					
	病 院 數	醫 師	藥 劑 師	調 劑 手	看 護 婦	入院患者	外來患者				
	16	52	28	—	73	4,351	?				
病 院	縣 立 廣 島 病 院		水 主 町	私 立 進 藤 病 院		細 工 町					
	縣 立 廣 島 診 療 院		船 入 町	私立吉永內科病院		西魚屋町					
	市 立 船 入 病 院		船 入 町	私 立 廣 島 腦 病 院		白島西中町					
	私 立 博 愛 病 院		下 中 町	私 立 清 病 院		細 工 町					
	私立堀田眼科病院		大手町八丁目	私 立 關 西 病 院		國泰寺町					
	私 立 難 波 病 院		立 町	株式會社 眞宗病院		上流川町					
	私立田邊外科病院		尾 道 町	私 立 中 央 病 院		國泰寺町					
	私 立 小 久 保 病 院		天 神 町	私 立 江 藤 病 院		小 町					
傳 染 病	病 名 別		大 正 十 三 年		大 正 十 四 年		大正十五年昭和元年				
			患 者	死 亡	患 者	死 亡	患 者	死 亡			
	コ	レ	ラ	—	—	1	1	—	—		
	赤		痢	169	29	46	12	36	14		
	疫		痢	54	40	35	23	69	45		
	腸	チ	ブ	ス	903	249	417	110	202	75	
	痘		瘡	1	—	3	1	17	5	—	
	發	疹	チ	ブ	ス	—	—	—	—	—	
	猖	紅	熱	5	2	5	3	30	7	—	
	バ	ラ	チ	ブ	ス	10	3	4	—	2	
	デ	フ	テ	リ	ア	4	2	18	10	16	6
	流行性腦脊髓膜炎			19	16	1	—	8	2	—	
	計			1,165	341	531	160	382	156	—	

(16)

死累年比亡較	年次	男	女	計	現住人口 千人 = 付
	大正十三年	2.132	2.026	4.158	23.5
	大正十四年	1.747	1.771	3.518	18.8
	大正十五年 昭和元年	2.260	2.081	4.341	21.1
衛生組合	組合數	役員數	總會開會度數	講話開會度數	經費總額
	209	1.829	260	140	1.720
塵芥搬出量	數	量	價	額	
		5.656.130		3.552	円
公設便所	兩便所併置	小便所	收	入	
	52	2		246	円
下水	幹支線長 延	人孔數	燈孔數	各戸接續管長 延	排水面積 平方米
水道	253.976 (139.687)	2 786	446	54.990 (30.245)	6.379.061 (1 929.557)

警察裁判警備刑務

警察、裁判、警備、刑務

警察署	署 數		所 轄 町 數		派 出 所		駐 在 所		
	4		117		33		4		
	警 視	警 部	警 部 補	巡 査 部 長	巡 査	計			
	2	4	13	27	220	266			
裁 判 所			判 事	檢 事	司法官 試 補	書記長及 監督書記	書 記	執達吏	計
	廣 島 控 訴 院		10	—	—	1	8	—	19
	同 檢 事 局		—	4	—	1	5	—	10
	廣島地方裁判所		10	—	—	1	10	—	21
	同 檢 事 局		—	3	—	1	3	—	7
	廣 島 區 裁 判 所		4	—	—	1	9	6	20
	同 檢 事 局		—	4	—	1	5	—	10

(17)

辯護士公證人 及執達吏		辯護士		公證人		執達吏			
		48		3		6			
盜難	區別	貨幣	穀類	衣類	其他	計			
	被害貨財	237.104 ^円	153 ^円	25.120 ^円	107.575 ^円	369.952 ^円			
	發見貨財	232.497	52	13.193	90.216	335.958			
變死者		自殺	過失	殺害	災害	其他	計		
	男	26	9	43	4	16	98		
	女	28	8	8	2	11	57		
	計	54	17	51	6	27	155		
火災	度數		軒數		燒失坪		損害高		
	116		81		1.039 ^坪		210.345 ^円		
消防	組頭	小部頭長	小頭	信號擔當者	消防手	常備消防手	機關士	運轉手	計
	1	4	9	23	226	30	1	6	300
刑務所	刑務所長	典獄補	看守長	監獄醫	教誨師	看守	女監取締	其他	計
	1	—	9	4	5	173	15	36	243
區別	男			女			計		
受刑者	923			—			923		
刑事被告人	45			—			45		
勞役場入場者	3			—			3		
攜帶乳兒	—			—			—		
計	971			—			971		

救 恤

救 恤

區 別	國 費	市 費			濟 生 會	計
		食	費	施 療		
人 員	人 2 円 84	人 139 円	人 105 円	人 68 円	人 314 円	
金 額		5.389	3.715	646	9.834	
區 別	男		女		計	
行 旅 病 人	55		9		64	
行 旅 死 亡 人	2		1		3	
計	57		10		67	
精 神 病 者	31		10		41	

商 工 業

商工業——商工會議所議員三五名特別議員一四名選舉權ヲ有スルモノ二、

九九八名經費三九、三七六圓ナリ

産業組合二一組、同業組合一三組、準則組合四組、漁業組合四組、任意組合五〇組、畜産組合一組、計九三組ナリ

會社ハ本店三四四支店九七ニシテ之ガ業別次ノ如シ

工業一四三、商業一五八其他一四〇ナリ今其ノ組織別ヲ見ルニ株式會社二一六、合資會社一五四、合名會社六四、相互會社七ナリ銀行ハ本店四、支店及出張所四七ニシテ本店ノ資本金總額二〇、〇〇〇、〇〇〇圓ナリ而シテ本支店預金總額六四七、三七〇、八八五圓ニシテ前年ニ比スレバ二四、二八一、六二一圓ノ増加ヲ示セリ

工場(職工五人以上ノモノ)三七六箇所ニシテ職工總數九、五八〇(男五、五七四 女四、〇〇六)ナリ今之ヲ業態ニ依テ分類スレバ飲食料品及嗜好品製造業八八、金屬工業五六、纖維工業二六、木竹類ニ關スル製造業六七機械器具製造業一四、化學工業二八其他九七ナリ瓦斯使用戸數燈火用六、

四七三燃料用一一、四一二機械用三戸ニシテ一年間ニ於ケル瓦斯使用量二一三、五八一、六〇〇立方呎此ノ價額六六二、五三四圓ナリ之ヲ前年ニ比スレバ使用戸數三、六八三戸減少セリ

電燈需用戸數四八、七四四電力需用戸數一三八〇戸トス之ヲ前年ニ比スレバ電燈需用戸數一、四一一電力需用戸數一〇二戸増加セリ

供給電量ハ一三、〇六九、四〇〇KWニシテ電力及電燈ノ料金ハ二、三四二、三〇五圓ナリ

商 業 家		本 業		副 業		計	
		戸 數	人 員	戸 數	人 員	戸 數	人 員
		12 256 ^戸	21.378 ^人	1.698 ^戸	3.014 ^人	13.954 ^戸	24.392 ^人
工 業 家		本 業		副 業		計	
		戸 數	人 員	戸 數	人 員	戸 數	人 員
		7.536	21.406	610	948	8.146	22.354
工 場 (職工十人以上) (以)		工 場 數	動 力		職 工		
			箇 數	馬 力 數	男	女	
		156	1.610	6.227	4.233	3.694	
市 場		市 場 名		場 數		賣 買 高	
		公 設 市 場		4		1.117.381 ^円	
		町 設 市 場		10		315.920	
		私 設 市 場		14		10.164.231	
區 別				組 合 數		組 合 員	
產 業	組 合			21		?	
同 業	組 合			13		13.684	
準 則	組 合			4		349	
任 意	組 合			50		?	
漁 業	組 合			4		901	
畜 產	組 合			1		11	

區	別	場	數	一 觀	客 年數	一 收	ケ 入	年 高
劇場及寄席	劇場	席	3		365.620		109.686	円
興行場	興行計	場	11		1 595.866		478.759	
			14		1.961.486		588.445	

勸商場	總數	店鋪數
	6	183

電氣	線路長	線條長	電燈需用戶數	電力需用 戶數	總馬力數
	93.51	669.52	48.744	1.380	7.280

瓦斯	瓦斯管延長	供給戶數	供給高
	206.771	17.888	213.581.600

區	別	輸移入	輸移出
縣外輸移出入		90,594.045	78,809.138
字品港輸出入		4,558.641	376.505
字品港移出入		15,138.021	6,404.593

縣外輸移出入品中主要ナルモノ	洋産綿	5,000.000	1,000.000
	打綿	—	1,800.000
	紡績綿糸	3,250.000	8,000.000
	人造絹糸	—	6,240.000
	絹織物	5,300.000	840.000
	絹交織物	5,600.000	4,500.000
	綿織物	6,600.000	4,800.000
	麻織物(着尺物)	180.000	1,248.000
	洋服	2,100.000	300.000
	玄米	2,380.000	216.000
	詰魚	156.000	3,840.000
	鮮魚	4,000.000	—
	清酒	720.000	1,372.070

區	別	輸移入	輸移出
縣外輸移出入品中主要ナルモノ	卵煮乾鰻	1,200.000	15.000
	昆葉煙草	1,350.000	945.000
	刻卷煙草	1,200.000	175.000
	果箆筒	2,400.000	1,200.000
	丸角板履藥	2,734.237	166.714
	洋針	45.152	2,565.792
	石ゴセ圖	1,544.514	8,791.635
	炭製品	1,250.000	440.000
	製ト書	—	2,800.000
	木豆石牛鷄高髻燐打清經疊	1,125.000	1,600.000
	材粕炭肉卵梁毛地綿酒針表	4,000.000	510.000
		1,120.000	480.000
		160.000	2,000.000
		1,200.000	180.000
		1,000.000	1,000.000
		—	1,500.000
		1,000.000	—
		200.000	1,200.000
		1,500.000	—
		2,800.000	—
字品港輸出入品中主要ナルモノ	木豆石牛鷄高髻燐打清經疊	1,352.882	—
		762.507	—
		642.618	—
		532.545	—
		363.092	—
		126.097	—
		110.268	—
	寸箱木	—	115.202
		—	57.532
		—	39.358
		—	20.873
		—	20.357

區 別	輸 移 入	輸 移 出
宇品港移出	1,638.160	—
米	451.030	—
麥	409.630	42.720
雜穀	412.800	717.630
其他ノ食料品	489.000	24.000
生魚	—	474.240
生鰯	1,508.540	221.275
其他ノ水産物	186.551	346.650
綿糸	685.608	333.963
綿メソト	425.481	1.440
石粉	—	221.275
金物	674.300	25.670
木材	514.800	761.780
木板	763.620	—
肥料	108.092	323.200
雜貨	4,497.498	1,827.188

株式取引所	年次	買 高		受 渡 高		實 物 取 引 高	
		株 數	價 額	株 數	價 額	株 數	價 額
		株	円	株	円	株	円
	大正十四年	2,037.340	216,998.372	196.760	20,017.730	—	—
	大正十五年 昭和元年	3,090.250	440,410.543	259.250	34,459.990	—	—

年 次	上 米	中 米	下 米
平 均 米	上 米	中 米	下 米
大正十三年	39.036	37.891	35.633
大正十四年	42.150	40.950	38.560
大正十五年	37.580	33.560	34.010
昭和元年			

品 目	數 量	價 額	戶 數	職 工
工 人 造 絹 糸	2,600.000	6,240.000	1	152
綿 糸	22.989	5,888.402	2	129
罐 詰	1,636.764	3,760.481	25	463
製 材	?	3,444.691	41	304

品 目	數 量	價 額	戶 數	職 工
精 米	84.495	3,379.800	113	254
製 綿	821.735	2,468.745	19	543
印 刷 物	?	1,700.911	42	525
菜 子 類	?	1,253.108	186	500
色 木 綿	1,054.375	1,189.733	6	工賃仕上
工 護 謨 製 品	?	1,122.236	9	389
洋 紙	10,524.575	1,066.792	1	208
機 械 類	?	998.029	48	228
洋 服 類	55.786	831.672	96	467
履 物 類	2,503.600	786.995	52	119
酒 類	8.597	748.486	11	104
染 木 綿	1,000.000	700.000	1	兼業
鍼 力 細 工	?	674.373	47	265
足 袋	1,987.250	628.870	19	208
髻 油	7.020	611.403	10	31
産 晒 木 綿	1,003.000	601.800	5	工賃仕上
染 手 拭	535.200	594.072	5	13
仕 上 簞 笥	13.912	581.515	27	89
疊	149.070	498.175	64	141
板 紙	11,790.677	495.077	2	112
鑄 物 類	?	493.858	10	189
石 炭 瓦 斯	212,638.700	468.548	1	62
清 涼 飲 料 水	?	395.701	26	177
建 具	?	394.633	102	334
傘	433.950	354.320	67	139
落 花 生 類	?	345.933	5	40
コ ル ク	?	345.387	1	37
木 地 簞 笥	10.833	342.207	112	267
鬘 附	843.500	337.400	5	10
船 底 塗 料	?	323.328	3	27
縫 針	1,171.433	322.027	34	263
漬 物	475.650	321.095	16	88

品	目	數量	價額	戸數	職工
工 產 物	靴	?	266.910	29	92
	毛	2.775.000	257.000	1	41
	礦	12.648	252.960	1	兼業
	蠟	496.847	529.525	4	
	賣	?	212.591	36	25
	其	?	8.588.746	1.138	66
	計	?	54.688.793	2.423	7.370
					14.471

備考 一ヶ年産額二十萬圓以上ノモノヲ掲記セリ

工 場	飯村鐵工所	鐵工業	廣瀬町
	藤川銑鐵工場	鑄物業	千田町
	平尾工業部	鑄鐵工業	吉島町
	山田文具金具製造所	鉛筆金具製造	蟹屋町
	廣島板金製作所	同	南竹屋町
	西井製作所	自轉車鐵札銅眞鍮器	段原町
	壽美商店鐵札製作所	鐵札類製造	水主町
	奥田金ペン製作所	金ペン製造	上柳町
	住野工場	足袋用甲馳製造	福島町
	播七製針工場	製針業	東白島町
	青木製針工場	同	天神町
	山本製針工場	同	鷹匠町
	極東ゴム工業所	ゴム製品製造	觀音町
	廣島製砥所	金剛砂砥石	蟹屋町
	廣島紙器製作所	紙製品製造業	觀音町
	藤井製菓工場	菓子製造	廣瀬町
	丹波屋製菓工場	同	廣瀬町
	新見罐詰製造所	罐詰製造	廣瀬町
	辻本昆布製造所	昆布製造	廣瀬町
	津崎商店廣島製材所	製材業	船入町
	宮本瓶冠製造工場	瓶冠製造	皆實町
	西尾壘工場	壘製造	堺町一丁目
	西久製綿所	製綿業	廣瀬町

工 場	廣島擔糸工場	擔糸業	皆實町
	櫻メリヤス足袋製造所	足袋製造	水主町
	三宅活版所	印刷業	大手町四丁目
	増田兄弟活版所	同	鹽屋町

備考 本表ハ法人ニアラザル工場ニシテ職工二十五人以上ヲ掲載ス

會社

會社——市内ニ於ケル會社ハ本店三四四資本金一〇二、四二八、七三八圓ニシテ支店九七ナリ

區別	本店	支店	資本金總額	拂込額	積立金
株式	131	85	96.687.500	68.348.840	6.514.429
合資	152	2	2.764.218	2.495.080	309.229
合名	61	3	2.977.020	2.780.820	345.314
相互	—	7	—	—	—
計	344	97	102.428.738	73.624.740	7.168.872

廣島電氣株式會社	電燈電力供給	大手町七丁目
廣島蓄産株式會社	罐詰製造	廣瀬町
本場關戸蚊帳株式會社	麻織物製造	廣瀬町
株式會社松浦商店	加硫ゴム製造	鐵砲町
茂森ゴム工業株式會社	ゴム製造	段原町
日乃出醬油株式會社	醬油及味噌	宇品町
明治足袋株式會社	足袋製造	天満町
中國製紙株式會社	洋紙製造	吉島町
大崎電氣株式會社	電燈電力供給	大手町八丁目
大海電氣株式會社	電燈電力供給	南竹屋町
廣島炭加製造株式會社	炭酸カルシウム製	船入町
廣島製紙株式會社	板紙製造	吉島町
廣島製酒株式會社	燒酎製造	船入町
廣島製飴株式會社	水飴製造	觀音町
株式會社廣島電機製作所	電氣機械器具製造	段原町

株式會社宇品造船所
東洋コルク工業株式會社
關西林業株式會社
煙福醬油株式會社
二葉鐵泉株式會社
株式會社淺枝鐵詰製造所
株式會社廣島印刷所
合名會社藤野製綿所
山陽燐寸株式會社
山陽合名會社
合名會社湯澤綿行
種ヶ島水力電氣株式會社
廣島木材株式會社
中國塗料株式會社
日向木炭製材株式會社
合資會社葛屋吉川洋服店
中外石碎株式會社
中國ゴム工業株式會社
株式會社大同洋行
甲立木工株式會社
朝日船底塗料株式會社
廣島鐵詰株式會社
株式會社桐原製橡工場
廣島カaramel製造株式會社
株式會社大和屋商會
廣島臨港土地株式會社
合資會社瀨川倉庫
廣島觀音地先埋立株式會社
株式會社鈴木商店
報濟製藥株式會社
株式會社星光舍
株式會社廣島株式取引所
廣島物產株式會社
株式會社大西商店

造船機
壓搾コルク板コルク
粒製材,製炭,製鐵賣買
醬油釀造販賣
清涼飲料水製造
鐵詰製造
活版印刷業
製綿業
燐寸製造
製材,木材,防腐事業
製綿業
電燈電力供給
製材
塗料化學工業用品製
造木炭製造販賣及製材
洋服製造
銀砂,中粉,粉末製造
ゴム品製造
縫針製造
製材業
船底塗料製造
鐵詰製造
製橡製造
カaramel製造
清涼飲料水製造
土地開拓改良開墾整
理倉庫業
地先開拓開墾
砂糖商
有價證券賣買
製藥卸賣
有價證券取引賣買
倉庫業物品委託販賣
砂糖商

元宇品町
吉島町
河原町
船入町
廣瀨町
廣瀨町
八丁堀
蟹屋町
三川町
河原町
愛宕町
南竹屋町
千田町
吉島町
千田町
大手町五丁目
觀音町
南竹屋町
紙屋町
八丁堀
吉島町
觀音町
船入町
吉島町
大手町八丁目
宇品町
西地方町
下中町
塚本町
稻荷町
研屋町
銀山町
大須賀町
堺町二丁目

東洋水產市場株式會社
合資會社羽田別莊
株式會社丸安高橋吳服店
藝備倉庫株式會社
株式會社藝備日日新聞社
株式會社ラミ一商會
株式會社立石商店
宇品土地株式會社
株式會社廣島ホテル
株式會社中野商店
柴田兄弟土地建物合名會社
中部合同コークス株式會社
橫山商事株式會社
株式會社大正屋吳服店
合資會社清水德商店
廣島電氣火葬株式會社
廣島旭木材株式會社
關西藥業株式會社
丸五合名會社

鮮魚海產物委託販賣
料理業
吳服小賣商
倉庫業
新聞紙發行
各種原糸賣買
織物販賣
海面埋立業
ホテル經營
洋反物及綿布加工賣
買
土地家屋賃貸
コークス販賣
ゴム製品販賣
吳服太物小賣
吳服太物卸賣
人畜燒屍胞衣及汚物
燒却
木材委託販賣
賣藥問屋
木材販賣

大手町七丁目
船入町
紙屋町
蟹屋町
大手町二丁目
廣瀨町
元柳町
元宇品町
播磨屋町
平田屋町
小網町
千田町
平塚町
細工町
天神町
尾長町
千田町
鷹匠町
水主町

備考 本表ハ資本金拾五萬圓以上ヲ掲載ス

(資本金順)

銀行及金融

銀行及金融——銀行ノ本店四支店一八行ニシテ本支店ノ一ケ年總預金額六
四七、四一〇、六三九圓ナリ

銀 行	銀 行 數	資 本 總 金 額	拂 込 額	積 立 金
	4	20,000,000 ^円	7,250,000 ^円	6,990,439 ^円
行	支 店 及 出 張 所	市 内 ニ 本 店 ヲ 有 ス ル モ ノ		市 内 ニ 本 店 ヲ 有 セ ザ ル モ ノ
		21		31

銀	預	區	別	官 公 預 金	普 通 預 金	貯 蓄 預 金
	金	一	ヶ 年	111,743.174 ^円	535,627.711 ^円	3,622.386 ^円
		年 / 末 現 在		1,746.288	97,402.278	4,150.575
貸	區	別	貸 付 金	當座預金貸越	計	
	金	一	ヶ 年	262,165.845 ^円	126,944.634 ^円	389,110.449
		年 末 現 在		86,970.145	8,662.873	95,633.018
諸 手 形	送	金	拂 出		受 込	
			130,664.428 ^円		119,622.457 ^円	
	荷 爲 替	貸 出		取 立		
		21,709.359 ^円		37,014.216 ^円		
	割 引	當 所		他 所		
		18,247.501 ^円		65,857.360 ^円		
	代 金 取 立	當 所		他 所		
		51,732.394 ^円		74,993.397 ^円		
	行	株 式 會 社 藝 備 銀 行	元 柳 町	株 式 會 社 共 榮 ^{貯金} 銀行廣島支店	大手町三丁目	
		株 式 會 社 廣 島 縣 農 工 銀 行	大手町四丁目	株 式 會 社 東 明 銀 行 廣 島 支 店	堺町三丁目	
株 式 會 社 廣 島 産 業 銀 行		中島新町	株 式 會 社 不 動 ^{貯金} 銀行廣島支店	大手町四丁目		
株 式 會 社 廣 島 合 同 貯 蓄 銀 行		銀 山 町	株 式 會 社 第 一 銀 行 廣 島 支 店	大手町一丁目		
株 式 會 社 澤 原 銀 行 廣 島 支 店		中島本町	株 式 會 社 加 島 銀 行 廣 島 支 店	革 屋 町		
株 式 會 社 尾 道 銀 行 廣 島 支 店		橋 本 町	株 式 會 社 十 五 銀 行 廣 島 支 店	堀 川 町		
株 式 會 社 尾 道 銀 行 大 手 町 支 店		大 手 町 九 丁 目	株 式 會 社 安 田 銀 行 廣 島 支 店	平 田 屋 町		
株 式 會 社 日 本 銀 行 廣 島 支 店		水 主 町	株 式 會 社 近 江 銀 行 廣 島 支 店	大 手 町 二 丁 目		
株 式 會 社 三 十 四 銀 行 廣 島 支 店		中島本町	株 式 會 社 鴻 池 銀 行 廣 島 支 店	播 磨 屋 町		
株 式 會 社 三 井 銀 行 廣 島 支 店		革 屋 町	株 式 會 社 藤 本 ^{ビルブローカー} 銀行廣島出張所	塚 本 町		
株 式 會 社 住 友 銀 行 廣 島 支 店	中島本町	株 式 會 社 藤 田 銀 行 廣 島 支 店	中島本町			

手 形 交 換	年	次	一ヶ年交換枚數		同 上 金 額		
	大 正 十 三 年			344.743 ^枚	205,663.563 ^円		
	大 正 十 四 年			377.612	269,916.471		
	大 正 十 五 年 大 昭 和 元 年			416.792	330,112.128		
郵 便 貯 金	年	次	預 入	拂 戻	年 末 現 在		
	大 正 十 三 年		5,357.697 ^円	6,282.459 ^円	5,721.451 ^円		
	大 正 十 四 年		4,950.672	5,830.863	6,117.650		
	大 正 十 五 年 大 昭 和 元 年		5,236.169	5,494.259	5,909.675		
振 替 貯 金	年	次	振 替 金 額		拂 戻 金 額		
	大 正 十 三 年		4,687.792 ^円		4,263.694 ^円		
	大 正 十 四 年		3,564.677		3,885.732		
	大 正 十 五 年 大 昭 和 元 年		3,107.220		4,155.461		
郵 便 爲 替	年	次	振 出		拂 渡		
	大 正 十 三 年		4,792.734 ^円		9,673.113 ^円		
	大 正 十 四 年		4,767.300		9,159.413		
	大 正 十 五 年 大 昭 和 元 年		4,596.818		8,740.979		
質 屋 貸 金	年	次	店 數	貸 出 高	受 戻 高	流 質 高	年 末 現 在
	大 正 十 三 年		150 ^円	1,217.442 ^円	495.168 ^円	78.374 ^円	643.900 ^円
	大 正 十 四 年		163	1,335.046	339.188	69.677	926.181
	大 正 十 五 年 大 昭 和 元 年		168	1,270.583	922.310	102.889	245.384

農 業

農業——本市ニ於ル農業戸數五、一四二戸人員七、四五〇人ニシテ之ヲ
 昨年ニ比スレバ戸數七三戸人員三一人ノ減少ヲ見ル而シテ主ナル農産物ハ
 蔬菜(一ヶ年産額九八五、五七二圓) 麥(一ヶ年産額一八九、九六六圓) 米
 (一六六、二四六圓) 棉(一ヶ年産額一九、〇五〇圓) 其他(六九、一三三圓)
 計(一、四二九、九六七圓)ナリ之ヲ前年ニ比較スレバ六〇、五九六圓増加
 セリ畜産物ハ一ヶ年搾乳二、四二〇石其價額一二一、〇〇〇圓ニシテ前年
 ニ比シ五三五石一七、三二五圓増加セリ

大正九年一月市農會ヲ設立シ爾來順調ナル發達ヲ遂ゲ特ニ蔬菜園藝地トシ
 テ中國第一ノ稱アリ

農 業 戸 數			農 業 者			農 業 地		
專 業	兼 業	計	專 業	兼 業	計	自作地	小作地	計
1,538	3,604	5,142	2,079	5,371	7,450	3,003	5,831	8,834
種 別		作 付	反 別	收 穫	高	價 額		
米			町		石	円		
			201.6		5.024	166.246		
麥			490.6		14.992	189.966		
其他農産物			?		?	1,073.755		
飼 畜 頭 數		牛	馬	豚	縮 羊	計		
		250	432	825	19	1,620		
家 禽		飼 養 戸 數		家 禽 數		産 卵 數		
		3,409		49,013		1,767,820		
半 乳		搾 取 所 數		乳 牛 頭 數		搾 乳 高		價 額
		10		221		2,420		121,000

屠殺		屠場數		種別	頭數	斤量	價額
		2	2	牛	16.265	894.953	2.357.404
				犢	52	1.203	3.011
				馬	66	2.626	4.990
				豚	1.499	22.960	45.291
				計	17.882	921.742	2.410.796
家畜賣買		牛		馬	豚	計	賣買高
		11.795 犢40		48	1	11.884	1.837.459

水 産

水 産——本市ニ於ケル昭和元年末水産業戸數六八二戸人員一、八七〇人
 ニシテ一ヶ年ノ産額澁海苔一一二、八五四圓鰯四二、三七〇圓黑鯛七五、
 〇〇〇圓鰯五七、五〇〇圓牡蠣三九、〇〇〇圓其他二三九、四八〇圓計五
 六六、二〇四圓ナリ

大正十二年六月市水産會ヲ設立シ水産業ノ向上發達ニ努力中ナリ

漁 業 戸 口	區 別	戸 數	漁 業 者		
			男	女	計
	本 業	343	506	241	747
	副 業	339	622	501	1,123
漁 獲 物	魚 類		貝 類	其 他	計
	268.070		134.000	51.280	453.350
水 産 製 造 物	種 別		數	量	價 額
	澁 海 苔			8.061	112.854
	鮎 製 品			37.500	8.250
	脊 黑 鯛			20.000	36.000
	蒲 鉾 其 他			57.982	185.542

交通

道路——道路ハ昭和元年末ニ於テ延長九〇里九町五間其ノ面積三一五、九八三坪ニシテ内國道ハ一里一九町一三間(一二、二八四坪)縣道ハ三里二一町三四間(三五、七八五坪)其ノ他ハ市道ナリ

國道ハ本市ノ中央ヲ東西ニ貫通シ縣道ハ南北ニ二線相通セリ

橋梁——橋梁ハ鐵橋六鐵筋混凝土五木橋一三木及鐵筋混凝土混合橋一ニシテ延長ノ最モ長キハ御幸橋ノ一四間ニシテ常磐橋ノ九四間之ニ次グ而シテ其ノ幅員ハ五間五分乃至二間三分ナリ

鐵道——鐵道ハ市ノ北端ヲ東西ニ通過セリ而シテ糸崎驛ヨリ廣島驛ニ開通セシハ明治二十七年六月ニシテ廣島徳山間ハ明治三十年九月ノ開通ニ係レリ廣島驛ヨリ吳ニ通ズル線ハ明治三十年十二月ノ開通ニシテ距離一六哩宇品線ハ明治二十七年八月ノ開通ニシテ其ノ距離僅ニ三哩餘ナリ藝備鐵道ハ本市ノ東端ヨリ安藝、安佐、高田、双三ノ四郡ヲ經テ比婆郡庄原町ニ通ズ距離五五哩八分ヲ有シ大正十二年十二月開通セリ廣島、横川、己斐、東廣島ノ各驛ニ於ケル^{大正十五年}_{昭和元年}中ノ乗客數ハ二、一一一、五七八人降客二、一三〇、一〇七人ニシテ平均一日乗客五、八六七人降客五、八三六人ナリ

軌道——軌道ハ明治四十二年六月廣島瓦斯電軌株式會社ヲ創設シ大正元年十一月開通セリ其ノ延長ハ八哩二四三ニシテ停留所四一箇所車輛七〇輛本年乗客二三、一二二、八八九人ニシテ平均一日六三、三五〇人ナリ大正十五年七月ヨリ宮島ニ至ル電車軌道ヲ開通セリ

船舶——(宇品入港船舶)——宇品港ハ本市南端ニ突出セル築港ニシテ明治十七年起工同二十二年竣工セリ^{大正十五年}_{昭和元年}中ニ於ケル宇品入港船舶ハ二一、七三三艘ナリ

棧橋——(通行人員)——棧橋通行人員ハ乗船一七一、四三九人上陸一五四、七六七人ナリ

本市ハ太田川ノ下流ニ位シ太田川ハ六派ニ分レテ市内ヲ貫流スルガ故ニ水源地方及廣島灣ヨリ出入スル貨物ノ輸送至便ナリ

宿屋		旅人宿		下宿屋		旅人宿泊人員		一日平均 宿泊人員	
		342		215		196.315		538	
宇品港入港船舶	區別	汽 般		帆 船		計			
		船數	總噸數	船數	總噸數	船數	總噸數		
	貨客船	10.876	3.852.502	305	4.715	11.181	3.857.217		
	漁船	—	—	—	—	—	—		
	避難船計	10.876	3.852.502	305	4.715	11.181	3.857.217		
汽船乘降客		乘 客		降 客					
		171.439		154.767					
鐵道	廣島驛	1.511.149		1.565.218					
	横川驛	121.632		101.128					
	己斐驛	236.610		232.434					
	東廣島驛	192.187		181.327					
電車	電車數		乘客數		賃 金		運轉哩數		
	70		23.122.889		1.059.230 ^円		2.045.043 ^哩		
諸車	自動車	自轉車	人力車	荷 車	荷馬車	其 他	計		
	151	20.309	531	7.920	392	4.522	33.825		
郵	郵便局	電報信局 取扱	公衆電報所 取扱	電話局	電 話 交換局	電 話 通話局	公衆電話	郵便函	
	29	1	8	—	1	5	18	230	
便	區 別		普 通		書 留		價格表記		計
	通常郵便物		引受	38.414.780 ^通	547.936 ^通		17.389 ^通		38.980.105 ^通
			配達	27.614.704	567.890		14.352		28.196.946

郵 便	小包郵便物	區 別	普 通	書 留	價格表記	計
		引 受	316.619	214.637	1	531.257
		配 達	240.684	165.335	—	406.019
	廣告郵便物引受		集金郵便物引受		集金郵便物配達	
		通	42.368			29.344
電 信	電 報	區 別	內 國	外 國	計	
		發 信	550.405	2.716	553.121	
		着 信	573.649	3.471	577.120	
電 話	電話加入者 及電話機	加 入 者	電 話 機			
			通 常	卓 上	公 衆	私 設
		3.692	3.347	226	18	170

市會議員職員財政

議員、委員

議 員	區 別		議 員		選 舉 有 權 者			
	衆 縣 市	議 院 會 會			1	10.573		
					12	11.789		
					39	25.414		
學 委	務 員	土 委	木 員	都 市 計 畫 調 查 機 關	市 營 事 業 臨 時 調 查 委 員	功 勞 者 調 查 委 員	其 他	計
	6		6	7	14	6	34	73

市 吏 員

市 長	助 役	收 入 役	主 事	技 師	視 學	市 醫
1	2	1	8	8	2	4

獸 醫	調 劑 員	書 記	書 記 補	技 手	技 手 補	機 關 手	機 關 手 補
2	1	139	19	30	5	3	—
掃除監督長		掃除監督	掃除巡視	守 衛	其 ノ 他	計	
兼 1		2	18	4	79	328	

財 政

市 普 通 經 濟	年 次	歲 入	歲 出			一 戶 平 均 額		一 人 平 均 額		
			經常部	臨時部	計	歲 入	歲 出	歲 入	歲 出	
大正	十三年度	4,815.164 ^円	1,937.447 ^円	1,366.579 ^円	3,354.026 ^円	106.082 ^円	73.923 ^円	27.172 ^円	16.490 ^円	
同	十四年度	4,173.324	2,007.187	1,014.715	3,021.902	91.518	66.268	22.325	16.166	
昭	和元年度	5,535.383	2,272.013	1,982.068	4,255.081	107.222	82.418	26.898	20.677	
市 特 別 經 濟	大正	十三年度	1,199.666	307.626	549.094	856.720	26.422	18.875	6.769	4.834
	同	十四年度	1,493.303	328.963	864.777	1,193.740	32.747	26.178	7.983	6.389
	和	昭元年度	935.198	325.674	551.991	877.665	18.114	17.000	4.544	4.265
市 費 歲 入	年 次	財産コリ 生ズル收入	使用料及 手 數 料	雜收入	前年度 繰越金	補助金	市 稅	其 他	計	
	大正	十三年度	19,270 ^円	225,717 ^円	120,325 ^円	1,666,376 ^円	57,791 ^円	2,227,401 ^円	498,282 ^円	4,815,162 ^円
	同	十四年度	21,073	225,886	111,645	1,461,138	24,479	2,177,982	151,123	4,173,326
	昭	和元年度	20,388	236,025	107,219	1,151,422	8,043	2,575,228	1,437,057	5,535,382
市 費 歲 出	年 次	役所費	土木費	衛生費	教育費	勸業費	其 他	計		
	大正	十三年度	287,196 ^円	143,425 ^円	203,684 ^円	1,138,719 ^円	14,884 ^円	1,566,117 ^円	3,354,025 ^円	
	同	十四年度	291,425	89,822	135,900	1,068,883	22,353	1,413,521	3,021,904	
	昭	和元年度	325,664	226,642	193,866	920,272	17,069	2,570,568	4,254,081	
諸 稅 負 擔	區 別	稅 額	現在戶數一戶＝付	現在人口一人＝付						
	國 稅	2,936,328 ^円	56.785 ^円	14.268 ^円						
	市 稅	2,575,228	50.367	12.513						
	計	5,511,556	107.152	26.781						

市 債	舊債償還ノタメ	下水道費トシテ	其 他	計
	円	円	円	円
			3,135,994	3,135,994
市 有 財 產				7,175,304
部 落 有 財 產				49,689

官 公 衙

官公衙及公共團體

廣 島 縣 廳	水主町	廣 島 衛 戍 病 院	基 町
廣 島 縣 會 議 事 堂	水主町	廣 島 憲 兵 隊	基 町
廣 島 健 康 保 險 署	水主町	廣 島 憲 兵 分 隊	基 町
廣 島 地 方 專 賣 局	皆實町	同 宇 品 分 遣 所	宇 品 町
神 戶 稅 關 廣 島 出 張 所	宇 品 町	陸 軍 運 輸 部	宇 品 町
廣 島 市 設 保 稅 地 域	宇 品 町	廣 島 控 訴 院	小 町
廣 島 稅 務 監 督 局	八丁堀	廣 島 地 方 裁 判 所	三 川 町
廣 島 稅 務 署	八丁堀	廣 島 區 裁 判 所	三 川 町
廣 島 縣 廣 島 工 業 試 驗 場	東白島町	廣 島 刑 務 所	吉 島 町
廣 島 縣 釀 造 試 驗 所	東白島町	廣 島 營 林 署	八丁堀
第 五 師 團 司 令 部	基 町	廣 島 遞 信 局	大手町八丁目
步 兵 第 九 旅 團 司 令 部	基 町	廣 島 郵 便 局	細 工 町
廣 島 聯 隊 區 司 令 部	基 町	宇 品 郵 便 局	宇 品 町
步 兵 第 十 一 聯 隊	基 町	廣 島 鐵 道 郵 便 局	大須賀町
騎 兵 第 五 聯 隊	大須賀町	廣 島 驛 前 郵 便 局	大須賀町
野 砲 兵 第 五 聯 隊	基 町	鐵 道 省 廣 島 驛	大須賀町
工 兵 第 五 大 隊	白島北町	鐵 道 省 宇 品 驛	宇 品 町
輜 重 兵 第 五 大 隊	基 町	門 司 鐵 道 局 廣 島 保 線 事 務 所	大須賀町
電 信 第 二 聯 隊	皆實町	西 警 察 署	大手町一丁目
第 五 師 團 兵 器 部	基 町	東 警 察 署	京 橋 町
廣 島 陸 軍 兵 器 支 廠	皆實町	宇 品 警 察 署	宇 品 町
宇 品 陸 軍 糧 秣 支 廠	宇 品 町	廣 島 水 上 警 察 署	宇 品 町
廣 島 陸 軍 被 服 支 廠	皆實町	廣 島 測 候 所	千 田 町

廣 島 縣 立 商 品 陳 列 所	猿 樂 町	日 本 赤 十 字 社 廣 島 支 部	千 田 町
廣 島 市 役 所	中島新町	愛 國 婦 人 會 廣 島 支 部	千 田 町
廣 島 市 會 議 事 堂	中島新町	日 本 海 員 援 濟 會	縣 廳 內
同 宇 品 出 張 所	宇 品 町	帝 國 水 難 救 濟 會 宇 品 分 會	宇 品 町
同 水 道 水 源 地	安藝郡牛田村	帝 國 水 難 救 濟 會 廣 島 支 部	縣 廳 內
同 水 道 課	基 町	廣 島 社 會 協 會	縣 廳 內
同 都 市 計 畫 課	新川場町	廣 島 聯 合 保 護 會	廣 島 刑 務 所 內
東 隣 保 館	尾長町	廣 島 修 道 院	大須賀町
西 隣 保 館	福 島 町	廣 島 育 兒 院	尾 長 町
廣 島 市 屠 場	福 島 町	廣 島 保 護 院	千 田 町
廣 島 市 常 設 家 畜 市 場	福 島 町	廣 島 修 養 院	尾 長 町
廣 島 市 公 會 堂	國泰寺町	廣 島 養 老 院	廣 瀨 町
廣 島 棧 橋	宇 品 町	廣 島 縣 海 外 協 會	廣 島 縣 廳 內
廣 島 商 工 會 議 所	猿 樂 町	福 島 町 民 一 致 協 會	福 島 町
帝 國 在 鄉 軍 人 會 廣 島 市 分 會	市役所內	樂 石 社 廣 島 支 部	田 中 町
廣 島 借 行 社	基 町		

保 險

保險會社

東華生命保險株式會社廣島支部	中 町	高砂生命保險株式會社廣島支店	大手町四丁目
共同生命保險株式會社廣島支部	猿 樂 町	東洋生命保險株式會社中國支店	猿 樂 町
萬壽生命保險株式會社中國支部	中島新町	壽生命保險株式會社廣島支店	小 網 町
有隣生命保險株式會社中國支部	堀 川 町	太平生命保險株式會社廣島支店	斜 屋 町
明治生命保險株式會社廣島出張所	大手町三丁目	常盤生命保險株式會社廣島支店	研 屋 町
仁壽生命保險株式會社廣島支部	同三丁目	國光生命保險相互會社中國支部	細 工 町
東洋生命保險相互會社廣島支部	播磨屋町	日本生命保險株式會社廣島支店	大手町四丁目
共保生命保險株式會社廣島支店	袋 町	國華徵兵保險株式會社廣島支部	同四丁目
日本醫師共濟相互會社廣島支部	八丁堀	片倉生命保險株式會社中國支店	同二丁目
愛國生命保險株式會社中國支部	大手町四丁目	橫濱火災保險株式會社廣島出張所	猿 樂 町
大安生命保險株式會社廣島支店	同三丁目	住友生命保險株式會社廣島支部	斜 屋 町

豐國火災保險株式會社廣島支店	尾道町	共濟生命保險株式會社廣島支店	革屋町
日本火災保險株式會社廣島出張所	大手町四丁目	日清生命保險株式會社中國支店	大手町四丁目
日本共立火災株式會社廣島出張所	鹽屋町	帝國生命保險株式會社廣島支店	同三丁目
第一火災保險株式會社廣島駐在所	堺町四丁目	橫濱生命保險株式會社廣島支店	猿樂町
蓬萊生命保險相互會社廣島支部	上流川町	東邦火災保險株式會社廣島出張所	元柳町
第一生命保險相互會社廣島支部	田中町	東神火災保險株式會社廣島出張所	中島新町
福德生命保險株式會社中國支部	山口町	朝日海上火災保險株式會社廣島出張所	水主町
日本徵兵保險株式會社廣島出張所	播磨屋町	太平海上火災保險株式會社廣島出張所	斜屋町
福壽生命保險株式會社中國支部	西魚屋町	東京動產火災保險株式會社廣島出張所	中町
富士生命保險株式會社中國支部	平田屋町	大福海上火災保險株式會社廣島出張所	紙屋町
大同生命保險株式會社中國支部	紙屋町	日本簡易火災保險株式會社廣島支部	幟町
日之出生命保險株式會社廣島支部	斜屋町	新日本海上火災保險株式會社廣島支所	八丁堀
千代田生命保險相互會社廣島支部	大手町二丁目	日華生命保險株式會社廣島監督事務所	大手町三丁目
太陽生命保險株式會社廣島支店	堺町二丁目	富國徵兵保險相互會社廣島支店	同七丁目
萬歲生命保險株式會社廣島支部	大手町三丁目	帝國火災保險株式會社廣島支店	天神町
大正生命保險株式會社廣島支店	八丁堀	旭生命保險株式會社廣島支店	大手町七丁目
八千代生命保險株式會社廣島支店	大手町三丁目		

新聞社

藝備日日新聞社	大手町二丁目	山陽新報社廣島支局	大手町八丁目
中國新聞社	上流川町	廣島日日新聞社	八丁堀
廣島毎日新聞社	尾道町	吳日日新聞社廣島支局	尾道町
大阪朝日新聞社廣島通信局	研屋町	廣島新聞社	銀山町
大阪毎日新聞社廣島支局	紙屋町	廣島日報社	中町
大阪時事新報社廣島支局	天神町	關門日日新聞社廣島支局	大手町七丁目

名所舊蹟

廣島城址——天正年間國守毛利輝元卿此地ヲ相シ、黒田孝高ノ設計ニ遵ヒ家臣二宮就辰ヲ奉行トシテ天正十七年經始シ、文祿二年エヲ竣レリ慶長五年毛利氏封ヲ長門周防ニ徙サルルヤ福島正則之ニ移リ、後元和五年淺野長晟公紀州ヨリ入ツテ安藝ノ全部並ニ備後ノ八郡ヲ領シ傳ヘテ十二代長勳侯ニ至ル、淺野氏ノ此ノ城ニアリテ治スル事實ニ二百五十有餘年ナリ、明治四年ニ至リ鎮西鎮臺第一分營ヲ此地ニ置カレ、現在ノ第五師團司令部是レナリ而シテ其後破却或ハ燒失シテ舊態ヲ失ヒ依然トシテ存スルモノハ僅カニ天主閣ト内壕トニ過ギズ、天主閣ハ五層ニシテ高サ十七間五尺基礎東西十二間、南北九間アリ、巍然トシテ高ク雲間ニ聳ヘ、甚ダ壯觀ヲ呈ス此城ハ別ニ鯉城ト呼ビ又泰磨城ト稱セリ

大本營跡——舊廣島城内本丸趾ニアリ元、第五師團司令部ナリシガ明治二十七年清國ト干戈ヲ交ユルヤ同年九月十五日、畏クモ明治大帝大轟ヲ此地ニ進メサセ給ヒ、同所ヲ行在所ニ充テサセラレ翌年四月二十七日マデ萬機ヲ此所ニ統ベサセ給ヒシ遺跡ニシテ實ニ千古不磨ノ一大記念ト謂フベシ、今ヤ第五師團司令部ノ管理ニ屬シ嚴重ナル警護ノ下ニ行宮嚴然當時ノ様ヲ保存シ衆庶ノ拜觀ヲ請フ者常ニ絶エズ

舊御便殿——廣島市ノ東部比治山上ノ北部ニ位シ明治二十七八年戰役ノ際大轟ヲ廣島ニ進メ給ヒ第七回臨時帝國議會ヲ召集シ廣島西練兵場内ニ假議事堂ヲ建設セラレ其ノ奥ニ御便殿ヲ設ケアリシガ最モ粗造ニシテ棟十四間梁五間ニシテ中央玉座ノアル處ハ僅カニ四十疊ニ過ギザリキ議會閉會ト共ニ建物不用ニ屬シタルヲ以テ此御便殿ハ本市ノ一大記念トシテ明治三十二年七月廣島市會ノ決議ニヨリ拂下ヲ受ケ後比治山公園ノ新設ト相俟テ同四十一年エヲ起シ同四十二年エヲ竣ヘタリ其ノ構造ハ宮殿型ニシテ最モ壯嚴ヲ極メ棟十八間梁七間ニシテ御便殿ヲ其ノ内ニ移シ以テ永遠不朽ヲ圖レリ庶民ハ洪大無疆ノ聖德ヲ偲ビ參拜スル者常ニ絶ヘズ

大正元年九月明治天皇御大葬儀ニ付青山葬場殿ニ御使用セラレタルモノノ内第二神門、眞榊、鏡、提燈、黃白旗ヲ同二年三月二十五日東京市ヨリ譲リ受ケ眞榊ハ柵内ニ植ヘ御神門ハ御便殿前ノ廣場ヘ建設シ其ノ他ハ祭日等ニ配列シ一般ニ拜觀セシムルコトトシ一層神嚴ヲ極メリ

饒津神社——二葉山ノ麓ニアリ舊廣島藩主淺野家ノ太祖贈從三位彈正少弼淺野長政夫妻贈從三位淺野幸長、贈從三位長晟ヲ祀リ敷地約六千六百餘坪ヲ有シ社殿ハ天保六年從四位上少將安藝守齊肅祖先追孝ノ爲メ造營セラレタルモノニシテ結構宏壯ナリ西ハ神田川ノ清流ニ臨ミ背後ハ綠樹鬱蒼タル二葉山ヲ負ヒ頗ル雅致ニ富ム明治五年二月縣社ニ列セラル

東照宮——尾長山ノ中腹ニアリ正保年中舊藩主淺野光晟ノ創建セル所ニシテ徳川家康公ノ靈ヲ祀ル境域千五百九十餘坪アリ社殿ハ南方ニ向ヒ石階五十一級アリ往時ハ結構壯麗ヲ極メ祭儀盛大ナリキ同境内ハ土地閑靜且ツ老松鬱蒼タルアリ石階ノ下參道ノ兩側ニ櫻ノ並木及藤ノ棚アリ暮春ノ候ニ至ラバ紫總恰モ纓絡ノ如ク又賞遊ヲ試ムルニ足ランカ

國泰寺——小町白神社ノ東隣ニアリ曹洞宗ニシテ僧惠瓊ノ開基ニ係リ文祿年間朝鮮木ヲ以テ諸堂ヲ建立ス後年三回ノ祝融ニ會ヒ舊時ノ觀ナシト雖モ堂宇壯大ニシテ境内ニ豊國神社アリ豊公遺髮ノ塔及赤穂義士大石良雄ノ室石束氏及同三男大三郎ノ墓アリ香煙常ニ絶ユルコトナク殊ニ近時市内有志ノ發企ニテ赤穂義士追遠塔ヲ建設アリ當寺ハ淺野家ノ菩提寺タリ寺後ニ淺野氏數代ノ墓墳アリ塋域幽閑櫻樹多ク又數百年ヲ經タル老樟ノ鬱蒼タルアリ

明星院——二葉ノ里ノ一隅饒津神社ノ東南ニアリ眞言宗月光山大日寺ト號ス天正十七年毛利輝元卿ノ建立ニシテ本尊ハ千手觀音ナリ慶長五年榮鏡法印中興セリ往時此處ニ大伽藍アリ淺野氏ノ祈願所ナリシモ維新後頓ニ廢頽シ明治三十五年廣島人八木新兵衛自カラ資ヲ投ジテ堂宇ヲ再建シ稍々舊觀ニ復シ境内櫻樹多シ又赤穂浪士四十七義士ノ木像ヲモ安置セリ

誓願寺——材木町ニアリ淨土宗紫雲山光照院ト稱ス惠空上人ノ開基ナリ抑モ建立當時ノ由緒ヲ尋ヌルニ天正九年ノ頃毛利輝元京都本山誓願寺ノ住職

惠空上人ニ歸依シ當國高田郡吉田ノ邑ニ居住セシム同十七年廣島城建築ノ時扈從シテ當廣島ニ來リ當寺ヲ開創シ翌十八年十月本堂落成ス時ニ正親町天皇ノ勅詔ニ依リテ本山誓願寺ニ傳來スル處ノ天智天皇御宸筆寺號ノ額ヲ賜ハリタリ而シテ現在ノ本堂ハ元祿元年五月當寺第九世辨空上人ノ再建スル所ニシテ堂宇壯大、境域三千餘坪ヲ算シ境内ニ小池アリ池畔ニ嚴島神社ヲ勸請シ毎年嚴島神社、管絃祭當日ハ參拜者多ク殷賑ヲ極ム

本派本願寺廣島別院——寺町ニアリ市内唯一ノ大伽藍ニシテ長祿三年甲斐國ノ住人僧正信ノ創建ニ係リ當時佛護庵ト稱シ天台宗ナリシモ後龍原山佛護寺ト改ム明應五年眞宗ニ改メ安藝國小本山ノ別名アリ明治三十五年十一月本派本願寺廣島別院トシ同時ニ堂宇ヲ改築セリ

國前寺——尾長町尾長山ノ麓ニアリ日蓮宗自昌山龍華樹院ト號シ曆應三年僧日像ノ開基ニシテ本尊ハ久遠本師釋迦牟尼佛ナリ往古曉忍阿闍梨ノ庵ニシテ曉忍寺ト稱セシモ明曆三年國前寺ト改ム門前ニ日像船繫松アリ

泉 邸——上流川町ニアリ元和五年淺野長晟入國ノ翌年此地ニ邸第ヲ營ミテ庭園ヲ修メ爾後世々ノ國守其ノ庭池ヲ擴メテ修理ヲ加ヘ二百七十餘年ヲ經テ以テ今ノ淺野長勳侯ニ至レリ園庭ハ支那西湖ノ景ヲ模シタルヲ以テ縮景園ト號ス、廣サ四丁太田川ヲ挾ミ斜ニ二葉山、向陽山ト相對シ岸ニ閘門ヲ設ケテ河水ヲ泉池ニ引ク中ニ池アリ、小島絶壁アリ溪アリ湍アリ自ラ深山ノ景趣ヲ備フ庭内清風館ハ座シテ全景ヲ望ムベク景致多趣ノ名園タリ明治二十七年車駕行幸アリ構内ニ淺野家ノ家寶ヲ陳列シ一般ニ觀覽セシムベキ觀古館ノ建物アリ

比治山公園——市内段原町ニアリ、山容恰モ虎ノ臥シタルガ如ク臥虎山ノ稱アリ山高カラズト雖樹木鬱蒼シ楓、躑躅ニ富ミ山嶺ノ眺望亦佳絶ニシテ四時杖ヲ曳ク者多シ殊ニ山頂ヨリ西面スレバ市街ノ約八分ヲ俯瞰シ南面スレバ宇品港ヲ眼下ニ集メ更ニ右スレバ江波ノ漁村ヲ望ミ遙カニ廣島灣ノ風光ヲ賞スベシ往昔老松ノ間ニ白鶴ノ棲メルヲ見シト聞ケド今ハ全ク其ノ姿ヲ見ズ

江波山公園——市街ノ西南端ニアリ三方繞ラスニ海ヲ以テ山上望海風景ノ雄大ナルハ筆紙ニ盡シ難ク北ハ市内ノ全景ヲ双眸ニ集メ東ハ宇品港及比治山ヲ眺メ西ニ己斐、草津、嚴島ハ指呼ノ間ニ點綴ス、安藝ノ小富士ノ佳景ヲ望ムガ如キハ眞ニ天下ノ絶景ト稱スベシ

大内越道——本市ヨリ中山、馬木、福田等へ往來スル山路ニシテ昔府中村ノ城主白井備中ヲ大内義隆ガ攻メシ時此ニ砦ヲ置キ且戰略トシタルガ故ニ名トス

三本松——猿猴橋ノ東尾長町國道筋ノ南側ニアリ豊太閣朝鮮征伐ノ際多クノ松樹ヲ栽エシモノ後三本ノミ残りシヲ以テ此ノ名アリト傳フ往時藩主ノ參勤交代アルヤ當地留守居ノ諸士此處ニ於テ送迎セリト

太宰原天満宮——二葉ノ里内ノ東方ニアリ太宰原ノ起源ハ菅公筑紫ニ左遷ノ砌リ船ヲ此處ニ寄セテ憩ハセ給ヒ其ノ後太宰府へ遷ラレタルヲ以テ其ノ名アリト且ツ同所ニ當時菅公ノ植エラレタル梅樹アリ長ジテ花開キ實ヲ結ブニ至リ里人其ノ實ヲ採リテ食フニ苦クシテ食フ能ハズ爾後之ヲ拾ハントスルモノナシト其ノ後此ノ實ヲ植栽シテ僅カニ其ノ一本ヲ殘セルガ今社殿ノ背後ニアルモノナリト傳フ、又同所ニ菅公ノ腰掛石ト云フモノアリ現在ノ祠ハ此上ニ建立セラレアリ

新天地——大正十年九月堀川町ニ活動寫眞常設館、劇場、娛樂場、賣店等ヲ經營シ以テ新天地ト稱セリ此地タルヤ日夜歡樂ノ人出多ク常ニ殷賑ヲ極ム

宇品山——宇品山國有林ハ宇品島ノ大部分ヲ占メ面積二十五ヘクタールニシテ暖帶固有植物ヲ藏スルコト地方稀ニ見ル所ナルノミナラズ老樹巨木鬱々トシテ貴重ナル林相ヲ成セリ從來航行目標學術考試保護林トシテ禁伐保護ヲ加ヘ來リシガ政府ハ民衆保健ノ増進ヲ圖リ且ツ學究ノ便ニ資セントノ趣旨ヲ以テ大正十五年甫メテ之ヲ公開シ新ニ步道ヲ拓キ或ハベンチ休憩所ヲ設クル等一般ノ散策行樂ニ任ゼリ一度此ノ山ニ來遊センカ瀬戸内海ノ風光一眸ノ裡ニ集リ畫尙暗キ大樟樹林ハ珍草奇木ヲ蔽ヒテ徐ロニ原始林ノ感

ヲ生ゼシム其ノ各植物ニ名稱性状用途ノ標札ヲ附セル蓋シ其ノ用意ノ周到ナルヲ見ル昭和三年一月十三日農林省告示第三號ヲ以テ保安林ヲ解除セラ

廣島縣廳——明治十一年水主町ニ建築シタルモノニシテ構内廣ク縣會議事堂アリ武德殿及廣島縣立病院相隣シ名園與樂園ハ其裏ニ續キ春季最モヨシ

廣島市役所——中島新町ニアリ市會議事堂ト相並ベリ廳舍狹隘ノ爲メ目下國泰寺町ニ宏壯ナル廳舍ヲ新築中ナリ

廣島縣立商品陳列所——元安川相生橋畔(セセツション式)ノ宏壯洋館ハ大正四年五月ニ新築セルモノナリ館内ニ縣下物產ヲ蒐集陳列シ各地物產及外國品ヲモ陳列シテ一般ノ參考觀覽ニ供シ商品ノ取引斡旋ヲ計リ商工業界ヲ指導シ館内ニ圖書室ヲ設ケ商品カタログヲ集メ以テ其ノ便ヲ計レリ

廣島商工會議所——明治二十四年一月中島新町ニ創立シタルシガ明治四十一年一月猿樂町ニ新築移轉セリ初メハ廣島商業會議所ト稱セシガ昭和三年一月一日ヨリ廣島商工會議所ト改稱ス然シテ時勢ノ進運ニ伴ヒ商工業者ヲ指導誘掖シ地方實業界ノ爲メニ努力シ種々ノ施設ハ將來大ナル發展ヲ見ルナラン

廣島市屠場——福島町ニアリ廣島市ノ經營ニ係リ規模宏大ニシテ大正三年煉瓦石造建築物トナシ諸設備ハ獨逸製機械器具ヲ採用シタル最新式全國唯一ノ屠場タリ

廣島市常設家畜市場——福島町西堤防山手河畔ニアリ大正三年一月ノ開場ニシテ廣島市ノ經營ニ係リ毎日市場ヲ開キ家畜ノ改良集散ニ便セリ

上水道水源池——安藝郡牛田村ニアリ明治三十一年八月通水式ヲ舉グ其後二回ノ擴張工事ヲ行ヒ面積二九、六九〇餘坪トナリ沈澱池、濾過池、砂溜池量水池、取水送水唧筒室等ヲ設備シ其ノ通水狀況ハ全國水道中優良ナル成績ヲ示セリ

廣島高等師範學校——千田町ニアリ明治三十五年ノ開校ニシテ文科、理科、教育科ニ分ツ構内ニ附屬中學校、同小學校、圖書館アリ又同校南隣ニ

博物館ヲ併置セリ

廣島高等工業學校——千田町ニアリ大正九年一月開校ニシテ電氣、應用化學、機械ノ三科ニシテ嶄新ナル設備ヲナス

廣島高等學校——皆實町ニアリ大正十三年十二月創立ニシテ文科、理科ニ分チ規模頗ル大ナリ

宇品港——本市南端ニアリ港内水深ク且ツ暴風波ノ害ヲ受クル事ナク常ニ巨艦、大船ノ出入繁ク中國航路ノ要衝ニシテ又大連航路ノ寄港地タリ
吳軍港、及ビ嚴島ハ指呼ノ間ニアリテ數多ノ島嶼亦點在シ風景絶佳ナリ此ノ地タルヤ明治十七年縣令千田貞曉ノ發起ニヨリ同二十二年十一月六二八、一二一坪ヲ埋立竣工シタルモノニシテ明治二十七八年、同三十三年、同三十七八年、大正三年等ノ戰亂ニ際シ軍隊糧食ノ輸送港トシテ大ナル利便ヲ與ヘタル良港ナリ

千田男爵銅像——宇品町ニアリ縣令千田貞曉宇品築港ニカラ盡シ以テ竣工ナリタルガ故ニ此レヲ記念スベク大正四年十一月建設セシモノナリ

廣島驛——本市ノ東部大須賀町ニアリ明治二十七年六月十日開通建築シ粗造ノモノナリシガ大正十一年改築シ内外共ニ美觀ヲ呈シタル中國ノ一大停車場トナレリ

紙屋町電車交叉點附近——本市ノ中央部ニ位シ市内ノ電車ハ此地ヲ基點トシ東ハ廣島驛西ハ横川驛及ビ斐驛南ハ宇品港ニ通ズル交通ノ要點タリ常ニ自動車及人馬ノ往復多ク殷賑ヲ極ム

第一軍戰死者記念碑——西練兵場ノ一隅ニアリ碑身ハ砲彈ニ擬シ高サ三十六尺七寸五分明治二十七八年戰役ノ戰死者七二六名ノ爲メ明治三十三年ニ建設セルモノナリ

本川橋——中島本町ヨリ塚本町ニ架セルモノニシテ天正年間加藤兼鎮（通稱ヲ猫屋九郎左衛門）之ヲ架設シタルヲ以テ猫屋橋ト稱セリ明治三十年長サ四十間幅四間ノ鐵橋ニ改築ス同橋ノ下流東岸堤防上ニハ櫻樹ヲ植エ花時夜間ニハ提燈ヲ吊ス俗ニ東本川ノ櫻ト稱シテ當市ニ於ケル一美觀タリ

元安橋——市内細工町ヨリ中島本町ニ架設セル鐵橋ニシテ工費七二、〇〇〇ヲ要シ體裁優美堅牢ナリ附近一體ハ市ノ中央ニ位シ商賈軒ヲ列ネ車馬絡繹織ルガ如ク此地ヲ里程元標トセリ

名物及物産

牡蠣——牡蠣ハ古來本市ノ特産品ニシテ其ノ品種他地方ノ物ニ比シ肉肥大風味美ナルヲ以テ名アリ本市江波町及ビ本市ニ隣接セル安藝郡仁保村、佐伯郡草津町沖ニ養殖シ且ツ同地住民ハ冬季舟ヲ遠ク大阪及ビ下關方面ニ艤シテ種々牡蠣料理ヲ營業セルヲ以テ牡蠣船ノ名聲高シ尙牡蠣罐詰牡蠣エキストシテ廣ク全國ニ移出セリ本市一ケ年ノ産額三九、〇〇〇圓ヲ算セリ

海苔——海苔モ亦牡蠣ト同ジク江波町、安藝郡仁保村沖ニ盛ニ養殖シ寒氣凜烈ノ候ニ採取シ之ヲ漉海苔トナシテ九州、大阪、京都其他各地方ニ移出ス其ノ産額一ケ年一、一五、八五四圓ヲ超ヘ名聲アリ

柿——生柿ハ主トシテ市ノ北部ナル安佐郡地方ニ於テ産出セルモノヲ本市ニテ乾柿ト爲シ東京、大阪、九州其他廣ク全國ニ移出セラル形美濃柿ニ似テ稍太ク味最モ美ナリ近來のし柿、柿羊羹等ヲ製ス

鮎——鮎ハ北郡部ヨリ流レテ本市ヲ圍繞セル太田川ニ棲息セルモノヲ漁獲スルモノニシテ生魚ノ外乾鮎、小判漬、糟漬、鮎うるか等トナン各地ニ移出セリ

廣島菜——廣島菜ハ本市特有ノ農産物ニシテ實ニ三百年來ノ歴史ヲ有シ其名天下ニ洽ク京菜又ハ平莖ト云フ蓋シ其ノ初メ京都ヨリ到來シタルノ故ヲ以テ京菜ト稱シ莖ノ扁平ナルヲ以テ一名平莖ト名ケシモノナルベシ廣島ニ於テハ主トシテ京菜ト謂ヒ京都ニテハ之ヲ廣島菜ト唱フ其ノ特長ハ葉柔軟ニシテ纖維少ク殊ニ漬物トシテ香氣最モ嗜好ニ適シ永ク貯藏ニ耐ヘ風味ヲ損セザルニ因ルナリ

白魚——白魚ハ本市ヲ洗フ太田川ノ下流ニ漁獲セラル、モノニシテ生及

ビ罐詰トシテ各地ニ移出セラル

罐 詰——本市ニ於ケル罐詰ハ明治十三年ノ製造ヲ初メトシ爾來星霜ヲ重
スルニ從ヒ幾多ノ改良ヲ加ヘ遂ニ優良ナル製品ヲ作り各地ニ輸移出スルニ
至レリ其種類ハ牛肉ヲ主トシ蔬菜類、魚貝及海苔、果實等ニシテ一ケ年ノ
産額約三、七〇〇、〇〇〇圓ニ達ス

足 袋——足袋モ亦古キ歴史ヲ有スレドモ明治二十年頃ヨリ漸ク發達ノ曙
光ヲ顯シ逐年改良益々發達シ莫大小足袋、護謨底、信州底等ノ地下足袋ノ
製造ヲ見ルニ至リ 製品ハ各地ニ輸出セラレツ、アリテ 一ケ年ノ産額六二
八、〇〇〇圓餘ヲ示セリ

染手拭——形染ハ往昔ヨリ盛ニ行ハレ明治初年箱轆ヲ發明セン以來一時ニ
多數ノ生産ヲナシ得ルニ至リ且ツ染模様鮮明トナリシヲ以テ廣島染ノ名頗
ニ昇リ全國ニ移出スルニ至レリ一ケ年ノ産額五九四、〇七二圓ニ達セリ

晒木綿及染地類——晒木綿及染地類ハ文政年間本市新川場町大和屋文五
郎ナルモノ木綿織物業ヲ開始シ漸次隆盛ニ趣キ現今ニ於テハ一ケ年ノ産額
一、三〇一、八〇〇圓ニシテ山口、島根ノ近縣ニ移出ス

簞 笥——簞笥ハ寛永五年二宮太郎右衛門ト云フ者今ノ安佐郡福木村ヨリ
來リ那波屋彦右衛門ト改名シ本業ヲ開始セリ明治維新前後ハ前桐二重簞笥
ヲ以テ最上等品トセンガ漸次黒柿、桑、櫟或ハ唐木等ヲ混用シテ上等品ノ
製作ヲ見ルニ至レリ斯クシテ明治四十一年本市主催ノ製產品々評會及明治
四十三年名古屋市主催ノ共進會ニ出品以來一層其ノ名聲ヲ高メ一ケ年ノ産
額九二三、七二二圓ニ達セリ

傘——傘ハ本市ニ於ケル重要物産ノ一ニシテ其ノ起源ヲ探グルニ舊藩主淺
野公紀州ヨリ當地ニ移リシ際紀伊國若山本町(今ノ和歌山市)ニ居住セル傘
屋庄右衛門及市郎右衛門ナル者同公ニ隨從シテ當地ニ來リ御傘ノ御用ヲ勤
メ代々藩ノ用命ヲ蒙リ居レリ之レ當地ニ於ケル傘製造ノ根源ナリ其後二百
餘年間ハ微々トシテ振ハザリシガ天保年間ニ至リ時ノ藩主大ニ獎勵ニ努メ
其ノ製作品ヲ買ヒ取りテ之ヲ江戸ニ回送シテ大ニ好評ヲ博シ漸次盛大ニ趣

キ降テ慶應年間ニ至リ着色其他ニ改良ヲ加ヘ大ニ販路ヲ擴張セリ然ルニ明
治二十年頃ヨリ同業者相謀リテ組合ヲ組織シ粗製濫造ノ弊ヲ矯正シ輸入品
ヲ防遏シ得ルニ至リ大ニ廣島傘ノ名聲ヲ揚ゲタリ且ツ之ガ職工ノ技倆ニ至
リテハ他府縣ニ秀デタルヲ以テ彼ノ岐阜及愛媛縣ノ如キモ本市ヨリ職工ヲ
雇傭シテ傳授ヲ受ケ以テ今日ノ盛大ヲ來セルモノナリト云フ大正十四年ニ
於ケル一ケ年ノ生産額ハ三五四、〇〇〇圓餘ニシテ其販路ハ大阪、福岡、
朝鮮等ナリ

縫 針——縫針ハ本市特產品ノ一ニシテ之ガ元祖トモ稱スベキハ本市中島
新町朝見國造ノ祖先針元屋初五郎ナル者寛永元年長崎ニテ製針業習得歸廣
ノ上製造ニ着手セシヲ本市製針業ノ嚆矢トス爾後幾星霜ヲ經テ製針業者漸
次増加シ殊ニ維新以來一層販路ヲ擴張シ東京、大阪、京都地方ヲ主トシ全
國ニ涉リテ名聲ヲ博シ盛況ヲ呈スルニ至ル而シテ明治二十年頃「メリケン」
針ノ輸入ヲ見ルニ至リ手工製造ハ機械製造ニ轉ジ品質「メリケン」針ニ比肩
シタレ共僅カニ内地ノ供給ニ止マリシガ歐洲戰亂ニ會ヒ斯業愈發達シ朝鮮
支那及南洋ニ輸出シ一進一退^{大正十五年}_{昭和元年}ノ産額三二二、〇二七圓ヲ示セリ

建 具——本市ニ於ケル建具ハ其ノ創業甚ダ古ク數百年前ニシテ明治維新
前マデハ交通機關不便ノ爲メ販路狹ク市内及近郡ニ限ラレシモ明治初年以
來交通ノ便開クルニ隨ヒ次第ニ販路ヲ擴張シ現今ニ於テハ愛媛、岡山、山
口等ノ各縣ニ涉リ其産額一ケ年三九四、六三三圓ニ達セリ

紡績綿糸——紡績綿糸ノ製造ハ明治二十九年初メテ蟹屋町ニ中國紡績株式
會社ト稱シ後大阪合同紡績株式會社ニ讓渡シ現ニ經營シツ、アリ一ケ年ノ
産額五、八八八、四〇二圓ニシテ本製品ハ悉ク本店大阪ニ送付ス

人造絹糸——本品ハ大正十年本市千田町ニ工場ヲ設ケ製造ヲ初メ漸次隆盛
ニ向ヒ一ケ年産額六、二四〇、〇〇〇圓ニシテ本市生産品中最モ多額ヲ占
メ本品モ亦本店神戸ニ送付セリ

護謨製品——本品ハ大正五年本市南竹屋町ニ中國ゴム株式會社工場ヲ設置
シタルヲ始メトシ爾來益々隆盛ニ向ヒ一ケ年ノ産額一、一二二三六圓ニ

シテ販路ハ朝鮮、臺灣、四國、九州、島根等ナリ

製 綿——本市及本市附近ニ古來棉作地トシテ有名ナリ隨テ製棉ヲ業トセル者續出シ文政年間廣瀬町奥久兵衛及猿猴橋町坪田鶴藏ノ祖先本業ヲ開始セリト云フ尙本業ニ就テ沿革ノ概略ヲ記シテ參考ニ資セン

本業ニ關スル歴史ヲ探ルニ元和年間淺野公入城以來綿ヲ以テ國產タラシメント欲シ寛延年間民設綿改所ヲ藩ノ保護ニ歸シ之ヲ本市銀山町ニ置キ綿會所ト稱シ(綿座改所又ハ綿改座トモ云ヘリ)藝備兩國ノ產綿ヲ審査精撰シ販賣上大ニ利便ヲ與ヘ其後同所ニ於テ繰綿業ヲ創メ細民ノ婦女子ニ授産ノ道ヲ與ヘ大ニ公益ニ資セリ斯クテ綿會所ノ審査ハ嚴正ナルガ故ニ品位ハ一層昂上シ賣買上ノ信用亦年毎ニ厚ク販路モ頗ル開ケ移出隆盛トナリ安藝白封ノ名遠近ニ傳ハリ遂ニ有名ナル一物產トナレリ(審査濟ノ繰綿ハ白紙ヲ以テ封ヲ爲ス依テ白封ノ名起ル)尙同會所ハ單ニ綿ノ審査ノミニ止ラズ農商間ニ金融ノ道ヲ開カント欲シ綿預券ヲ發行シ荷主ハ現品ヲ會所ニ預ケ預券ヲ以テ賣買スルノ便ヲ得爾來金錢ノ貸借ハ此預券ニ依ルモノ頗ル多ク大ニ金融ノ流通ヲ助ケタリ明治五年廢藩置縣ニ際シ一旦閉鎖セントスルノ悲運ニ逢着セシモ當業者間ニ於テ感ズル所アリテカ之ヲ民有ニ移シ爾後益々事業ヲ擴張シタリ然ルニ明治三十六年八月ニ至リ當時ノ米綿取引所ヲ株式組織ニ變更ト同時ニ株式會社廣島米取引所ト改稱シ爾來綿ノ取引ヲ廢スルニ至レリ茲ニ於テ其ノ取引機關ハ中絶セリト雖民間ニ於テ直接取引セル數ハ實ニ夥シ今ヤ關西ニ於テ其ノ名ヲ博メ產額ノ如キモ約二、四六八、七四五圓ニテ販路ハ四國、山口縣下等ナリ尙之ガ精撰ニ付テハ古ヨリ明治十八九年頃マデハ打綿ハ專ラ弓打ナリシガ同二十年頃ヨリ箱機械ニ變更シ同三十八年頃ヨリ更ニ梳綿機ヲ應用スルニ至レリ

洋 紙——本市ニ於ケル洋紙ノ製造ハ大正六年吉島町ニ中國製紙株式會社ヲ設置シテ製造ニ着手シ漸次隆盛ニ向ヒツ、アリ現今ニ於テハ一ケ年ノ產額一、〇六六、七九二圓其販路ハ東京、大阪及縣下トス

菓 子——本市ニ於ケル菓子製造ハ塚本町(家號ニ文字屋)大田源右衛門ノ

祖先ニ文字屋源右衛門ナルモノ元和五年(今ヨリ約三百年)前舊藩主淺野公紀州ヨリ入城ノ際隨從シ來リ横町ニ居住シ專ラ御用菓子ヲ製造セシヲ嚆矢トス爾來塚本町ニ菊屋庄右衛門京橋町ニ平芳屋庄助堀川町ニ虎屋傳三郎ナルモノ製造ヲ開始セン由ナルモノ今ハ虎屋ヲ除クノ外ハ其跡ヲ見ズクテ維新前迄ハ本市ニ於ケル製造家ハ僅カニ十五六戸ナリシモ需要者ノ増加ニ連レ漸次同業者ノ數ヲ増シ現今ハ三百戸ニ及ビ盛ニ營業ヲナシ前途頗ル有望ナリ而シテ維新前頃迄ハ燒物類ノ製造盛ニシテ之ニ次グモノハ砂糖物、蒸物、羊羹ノ類ナリシガ維新後ニ至リ更ニ乾菓子、押物(落雁)、生菓子、麵麴、洋菓子類花霞及落花生菓子等ノ製造ヲ見ルニ至レリ

燐 寸——本市ニ於ケル燐寸製造業ノ鼻祖トモ稱スベキハ本市細工町高坂萬兵衛ナリトス同氏ハ明治初年頃ヨリ西洋品輸入ノ數漸次増加スルヲ憂ヒ燐寸ノ如キハ必須ノ日用品ナレバ輸入防止ト一面一大營利事業ナラント着眼シ之ガ製造ヲ企圖シ種々研究ヲナシ稍其ノ製法ノ緒ヲ得テ三名ノ同志ト組合組織ニテ本市船入村ニ快燐社ト稱スル工場ヲ設置開業セリ之レ實ニ明治十三年ニシテ本市ニ於ケル燐寸製造業ノ嚆矢トス然シテ幾多ノ困難ニ遭遇シタレ共佐伯郡吉和村ニ燐寸軸木製造所ヲ設ケ明治三十九年二月ニハ一箇人ニシテ本市段原村ニ樂全堂ト稱スル工場ヲ設ケ燐寸製造業ヲ再興シ專ラ硫黃燐寸ノ製造ニ從事シ主トシテ印度地方ニ輸出ヲ計リ歐洲產ニ比肩スルノ名聲ヲ得タリ同氏ニ亞ギ三川町ニ合資廣島油明會社觀音村ニ廣島觀榮合資會社起リタリシガ遂ニ合資廣島油明會社ヲ山陽燐寸株式會社ト變更シテ現ニ三川町ニ營業シツ、アリーケ年ノ產額一二三、〇〇〇圓餘ニシテ專ラ神戸ニ移出セリ

清 酒——本市ニ於ケル酒造家ハ往昔三原屋、海老屋、室屋等代々藩ノ御用ヲ勤メ居リシモノ今ハ其ノ迹ヲ絶テリ而シテ現在ノ酒造家中其ノ創業ノ古キハ京橋町平野屋事松井亮吉ニシテ之ガ祖先ノ創業ハ寛永十一年同町繩屋事保田八十吉ハ元祿十年ノ創業ナリト之ニ依リテ考フルニ本業創始時代ハ少クトモ今ヲ去ルコト三百年前ニアリシコトヲ證スルニ足ルベク此ノ間ノ

盛衰消長ヲ知ラントスルハ頗ル困難ナリト雖明治維新前迄ハ凶年ニ遭遇シ米價暴騰セン場合ハ藩主ハ所謂御藏米ヲ供給シ酒造家ヲ援助セラル、ト一方廣島城下ニハ他藩ハ素ヨリ郡部ヨリモ清酒ノ移入ヲ嚴禁シ優等酒ニ對シテハ藩ノ御用ヲ命ゼラレ藩主自ラ酒銘ヲ授ケラル、等酒造ノ獎勵最モ盛ナリシト謂ヘリ斯クテ明治維新ニ於テ酒造家ノ數ヲ増シ且最モ盛ナリシ時ハ釀造戸數四十戸ヲ有シ當時ニアリテハ現今縣下ニ其名鉦々タル賀茂郡地方ノ釀造酒ニ優リシコト數等ナリシト然ルニ明治維新後ニ至リテハ主トシテ兵庫縣灘酒ヲ好ムノ傾向アリシ爲メニ之ガ改良ニ意ヲ注ギ種々合議ノ上明治二十一年頃岩崎永助(現在ノ先代)保田芳太郎ノ兩人兵庫縣ニ赴キ灘地方ノ各酒造家ヲ歴訪シテ實地ヲ見聞シ其後灘ヨリ杜氏ヲ招聘シ容器々器具等ニ至ルマデ杜氏ノ言ニ從ヒ新調シ當時中島本町岩崎永助ノ酒造場ヲ試驗場ニ充テ盛ニ試驗ヲナシタルモ風土水質等ノ異ナル廣島市ニ於テ灘釀造法ヲ其ノ儘採テ應用シタル拙考ハ何等得ル所ナカリキ然レドモ一回二回ノ失敗ハ反テ成功ノ素因トナリ其後改良ニ考案ヲ重ネ長足ノ進歩ヲナスニ至レリ一方賀茂郡ノ如キハ本市ニ於ケル試驗ノ失敗ニ鑑ミル所アリテ是亦其後種々ノ考案ヲナシ改良ノ實ヲ擧ゲ杜氏ノ產出地トシテ縣下ニ雄飛スルニ至レリ爾テ我廣島市ニ於テハ今ヤ賀茂郡地方其他ト相俟テ年々相繼ク品評會共進會等ニ於テ賞牌褒狀等ヲ授與セラレ殊ニ明治四十二年ノ全國酒類品評會ニ於テハ全國中第一位ノ優等成績ヲ擧ゲ其ノ名聲ハ灘酒ヲ壓セントスルノ盛況ヲ呈シ特ニ明治三十一年廣島酒造組合ノ設立ヲ見ルヤ一層其ノ面目ヲ革メ將來益々有望ノ地位ニアリーケ年ノ產額七四六、〇〇〇圓餘ニシテ東京及縣下ニ移出ス

洋服——本市ニ於ケル本業ノ元祖ヲ明治五年ノ創業ヲ有スル本市大手町二丁目津村良平ニシテ明治五年前ハ專ラ和服仕立ヲナシ居リシモ時勢ノ變遷ニ連レ洋服裁縫ヲ思ヒ立チ京阪地方ヨリ洋服ヲ購入シ之ヲ手本トシテ種々研究ノ結果同年十數着ヲ試製セシモ其拙劣ナルコト今ヨリ考フレバ殆ンド兒戲ニ類スルノ感アリ同年本市ニ廣島鎮臺ノ設置セラル、ニ際シ軍隊被

服裁縫場ヲ設置ト共ニ職工長ニ採用セラレ苦心研鑽シ大ニ得ル所アリシト次デ本業ヲ開始センハ横町吉本榮ナリトス明治十年頃迄ハ本業者ハ僅ニ四戸ニ過ギザリシモ同二十七八年日清戰役當時ヨリ需用俄ニ増加シ京阪人ニシテ熟達セル職工ヲ引連レ來廣開店スル者續出シ本市ニ於ケル本業ノ面目ヲ革メタリ

抑々洋服ハ明治二十七八年戰役前マデハ着用者ハ軍人、官吏、學校生徒ノミニ限ラレタル感アリシモ逐年着用者増加ニ伴ヒ同業者モ亦増加シ殊ニ日露戰役當時ヨリ一層劇増シ現今ハ九十六戸ノ多キニ及ビーケ年ノ生産八一、六七二圓ヲ示シ山口、福岡縣下ニ移出セリ

里 程 表

自 廣 島 市 至 東 京 市					自 廣 島 市 至 下 關 市				
驛 名	哩 數	一 等	二 等	三 等	驛 名	哩 數	一 等	二 等	三 等
廣 島	—	—	—	—	廣 島	—	—	—	—
西 條	19.8	1.50	1.00	.50	宮 島	13.5	1.05	.70	.35
糸 崎	46.3	3.54	2.36	1.18	大 竹	22.4	1.74	1.16	.58
尾 道	51.9	3.90	2.60	1.30	岩 國	25.7	1.95	1.30	.65
福 山	64.4	4.71	3.14	1.57	柳 井 津	43.2	3.54	2.36	1.18
笠 岡	73.5	5.28	3.52	1.76	下 松	63.5	4.65	3.10	1.55
岡 山	100.7	6.96	4.64	2.32	德 山	68.4	4.95	3.30	1.65
姫 路	155.7	9.78	6.52	3.26	三 田 尻	84.9	5.97	3.98	1.99
神 戶	190.1	11.55	7.70	3.85	小 郡	96.0	6.66	4.44	2.22
大 阪	210.1	12.48	8.32	4.16	山 口	103.9	7.29	4.84	2.42
京 都	236.9	13.56	9.04	4.52	宇 部	111.7	7.53	5.02	2.51
彦 根	275.2	15.21	10.14	5.07	厚 狹	117.7	7.83	5.22	2.61
關 ヶ 原	292.6	15.93	10.62	5.31	小 月	126.8	8.28	5.52	2.76
岐 阜	309.9	16.56	11.04	5.52	長 府	130.7	8.49	5.66	2.83
名 古 屋	323.7	17.25	11.50	5.75	下 關	139.5	8.94	5.96	2.98
靜 岡	444.1	21.30	14.20	7.10					
横 須 賀	544.5	24.45	16.30	8.15					
横 濱	545.1	24.48	16.32	8.16					
東 京	563.3	25.02	16.68	8.34					

備考 本表賃金ノ外=急行料金(急行=乗車ノモノ)ヲ要ス (別表)

急 行 料 金

等	級	三百五十哩未満	五百哩未満	五百哩以上
一	等	2.00	3.00	3.75
二	等	1.20	2.00	2.50
三	等	.65	1.00	1.25

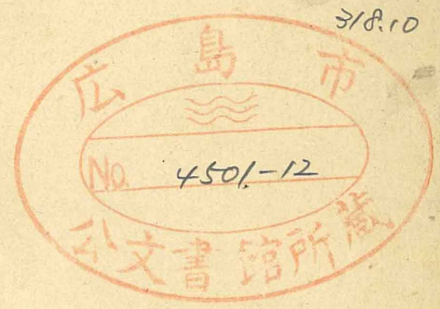
市内主ナル旅館 (一ヶ年税額
五十圓以上)

町 名	屋 號	氏 名	電 話
播磨屋町		株式會社廣島ホテル	2053
大手町三丁目		吉 川 金 藏	特長 106
鐵砲屋町	松 万	松 田 万 之 助	特長 2256
鳥屋町	わ た や	渡 邊 章 一	特長 32
大須賀町		長 沼 シ ゲ	特長 288
大須賀町		吉 川 秀 男	特長 261
猫屋町		高 橋 十 兵 衛	特長 86
大須賀町	鶴 水 館	大 崎 玉 次	特長 1233
大手町五丁目		藏 内 仲 二	特長 104
鳥屋町		中 近 茂	長 519
播磨屋町		松 川 了 之 助	長 930
天神町		天 城 福 松	特長 487
大須賀町		中 本 直 太 郎	特長 654
猫屋町		錦 織 八 十 一	
鐵砲屋町	千 歳 館	馬 場 丈 吉	長 743
鐵砲屋町		合資會社山金旅館	長 1063
堀川町		宮 本 修	特長 542
堀川町	やまきや旅館	眞 田 貞 吉	長 2158
紙屋町		山 口 常 吉	649
大須賀町		山 邊 省 三	
大手町四丁目		渡 部 タ ミ	長 681
元柳町		佐 々 木 チ ヨ ノ	510
大須賀町		山 科 敏 夫	1406
鐵砲屋町		永 井 カ ツ	長 446
猫屋町		河 口 千 代 子	
堀川町	田 中 旅館	行 宗 環	長 2032
三川町		天 城 忠 衛 門	長 1214
下柳町	防 長 館	小 林 政 千	2174

驛
廣
西
糸
尾
福
笠
岡
姫
神
大
京
彦
關
岐
名
靜
横
横
東
備

昭和三年三月二十五日印刷

昭和三年三月三十一日發行



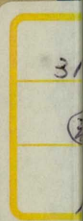
廣 島 市 役 所

廣島市鹽屋町十二番地

印刷者 増 田 直 吉

廣島市鹽屋町十二番地

印刷所 増田兄弟活版所



広島市